

2020(令和2)年度 コア探究実施報告書

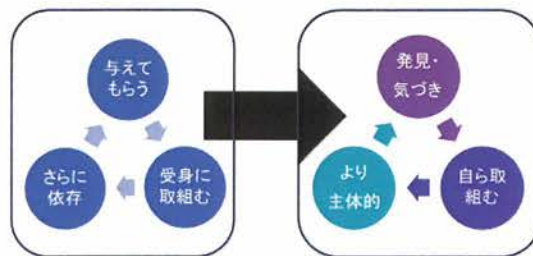
(文部科学省 WWL コンソーシアム構築支援事業)

最も大切なこと

お客さまからの脱却

お客様モデル

生産者モデル

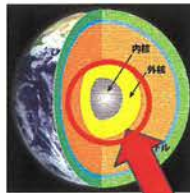


成長のために大切なのはここ！



コアとは？

- ①生産者になるためのエッセンス(スキル、マインド)を育てる授業。
- ②総合的な探究の時間として、3年間実施。
- ③高1ではコアとCSLの2時間がある。

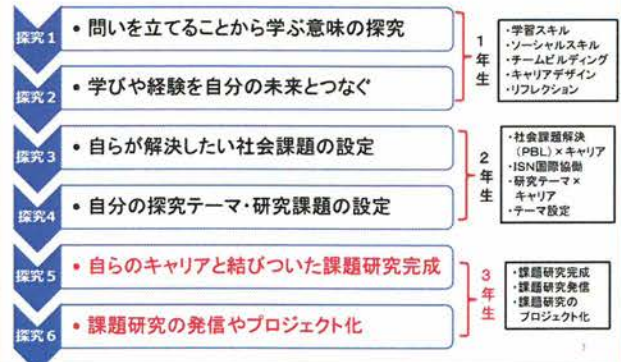


コア

コアが教科やクラブ・行事のより良い学びにつながり、逆に教科などでの学びがコアの学びを支える。



コア探究の3年間



立命館宇治中学校・高等学校

Ritsumeikan Uji Junior and Senior High School

Greetings

With the support of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, the Kyoto Prefectural Education Division, and the steering committee members, we were able to summarize the research and development of our "core exploration" efforts. We would like to express our gratitude to everyone who has contributed to the promotion of "core exploration".

Over the past 20 years, our school has evolved into a school where very talented students can enroll. Although our students are very talented and intelligent and are able to complete their assigned tasks, we have to be aware of the kind of tasks we give them. Are we giving them too much rote learning? or are we teaching them to think on their own. We give them many tasks but rather than setting tasks one after another, it is necessary to develop their internal motivation and to increase their intellectual and mental "muscle strength".

By encouraging students to "think for themselves", "think critically" and ask intelligent questions and work together in projects we are training them for serious tasks in the real world that will eventually benefit society

Much of the work towards "core exploration" has been carried out by our younger teachers and their hard work is being rewarded by more and more excellent project work by our students.

Based on this hypothesis, we started our efforts in 2018, and this year all three grades been doing projects that they were truly involved in and interested in. This booklet summarizes not only the parts that feel the response according to the hypothesis, but also the parts that require re-verification of the hypothesis. By receiving further suggestions and advice from everyone and continuing this initiative, we will take on the challenge of developing human resources who will have a strong driving force inside themselves and experience the fulfillment and enjoyment of real learning.

RitsumeikanUji Junior & Senior Highschool Principal Joseph Hicks

この度、文部科学省、京都府文教課、運営指導委員の先生方のご支援をいただき、研究開発「コア探究」のとりくみをまとめることができました。研究会その他のところで、さまざまなご助言をいただきました関係の皆様へ改めて御礼を申し上げます。

本校は、20年来の取り組みの中で、非常に優秀な生徒に入学していただける学校へと進展して参りました。一方で、指示されたことや課題は熱心に取り組むものの自発的に学びや自己の成長へはたらしめていく生徒が減ってきている、というもどかしさを感じていました。そこで、教員はさまざまな課題を課して生徒の成長を促そうとし、生徒もそれに応えようとするものの、生徒・教員の両方が、そのことによって疲弊しているのではないかと、という疑問が立ち上がってきました。次々と課題を設定するのではなく、生徒がそれぞれの将来像にむけて自発的に行動できる力、それを支える知的・精神的な「筋力」を太らせる取り組みが必要ではないか、という議論が、若い教員を中心に展開され、それを具体化する教科「コア探究」を設定するに至りました。

各教科の学びの根源となる「疑問をもつ力」・「問いを立てる力」を刺激し、各教科に共通する学びのスキルを鍛えることで、教科の学習が教員の与える駆動力に頼ることなく自発的に進んでいくのではないかと、生徒が感じた「問い」とキャリア指導が重なることで、自分がどのような課題解決を通じて社会に貢献するのか、という将来展望を見出すことにつながるのではないかと、というのが私たちの仮説です。

この仮説に基づいて2018年度より取り組みをはじめ、今年度は3学年すべてが「コア探究」に取り組みました。仮説どおりの手ごたえを感じている部分のみでなく、仮説の再検証が必要なる部分もあわせてこの冊子にまとめられています。皆様のさらなるご指摘やご助言をいただき、この取り組みを継続していくことで、自分の内側に強力な駆動力を持って、学習やその他の活動に進んでいく人材を育成していくことに挑戦して参りたいと考えています

2020年度 コア探究実施報告書 目次

報告書の発行にあたって

| | |
|-----------------|---|
| 冊子の読み方マニュアル | 3 |
| コア科目とは？担任会議説明資料 | 5 |

(授業編・3年生)

| | |
|-------------------------|----|
| 授業シラバス | 7 |
| コア探究Ⅲ授業一覧 | 8 |
| ループリック（生徒配布プリント） | 9 |
| 授業のパワーポイント・ワークシート（主なもの） | 10 |
| 生徒作成ポスター | 28 |

(授業編・2年生)

| | |
|-------------------------|----|
| 授業シラバス | 32 |
| コア探究Ⅱ授業一覧 | 33 |
| 口頭試問、自分マニフェスト | 34 |
| 授業のパワーポイント・ワークシート（主なもの） | 39 |

(授業編・1年生) 59～

| | |
|-------------------------|----|
| 授業シラバス | 59 |
| コア探究Ⅰ授業一覧（コア・CSL） | 60 |
| 授業のパワーポイント・ワークシート（主なもの） | 61 |
| コア探究Ⅰまとめ（総括と取り組み報告文書） | 75 |

(研究編) 90～

| | |
|--------------------|-----|
| 研究開発実施報告書（文科省報告文書） | 90 |
| 研究概要図 | 105 |

(資料) 106～

| | |
|-------------------|-----|
| 高2生徒作品（コンクール受賞作品） | 106 |
| 日本教育新聞記事 | 110 |
| 高3生徒新聞掲載記事 | 113 |
| ベネッセ総合教育研究所公開スライド | 114 |

コア探究報告書 読み方マニュアル

★次のチェックに一つでもあてはまる人はぜひこの冊子を読んでください。

(チェック)

- 総合的な探究の時間って何？
- なぜ総合的な探究の時間は大切なのか知りたい。
- 探究や総合的な探究の時間に興味がある。
- 総合的な探究の時間について文科省の研究開発学校としての取り組みの全容を知りたい。
- 立命館宇治高校の総合的な探究の時間やキャリア教育授業に興味がある。
- 総合的な探究の時間に生徒がどのようなことを学び、どのように変わるのか知りたい。
- 総合的な探究の時間を実施して先生がどのような感想を持ったのか知りたい。
- 総合的な探究の時間をどのように運営していくのか知りたい。
- 総合的な学習の時間の授業内容やワークシートを見たい。
- 探究の授業を通して生徒（や教員）がどのように変化するのか知りたい。

< 報告書の構成 >

① 授業編 (1年生～3年生) (p5～p89)

授業の全体像

- ・ 授業シラバス
- ・ 授業一覧
- ・ 担任会説明資料



授業実践／生徒作品

- ・ 授業スライド
- ・ 授業のワークシート
- ・ ポスターなど

② 研究編 (p90～p119)

研究編

- ・ 研究開発実施報告書
(文科省報告資料)
- ・ 研究概要図

資料

- ・ 生徒受賞作品
- ・ 生徒活動紹介記事
- ・ 日本教育新聞掲載記事
- ・ 取り組み紹介スライド
(ベネッセ総合教育研究所)

<よくある質問・疑問と、それに対応する報告書のページ>

(全てを読む時間がないときは下の疑問にあてはまるところから読みはじめてください)

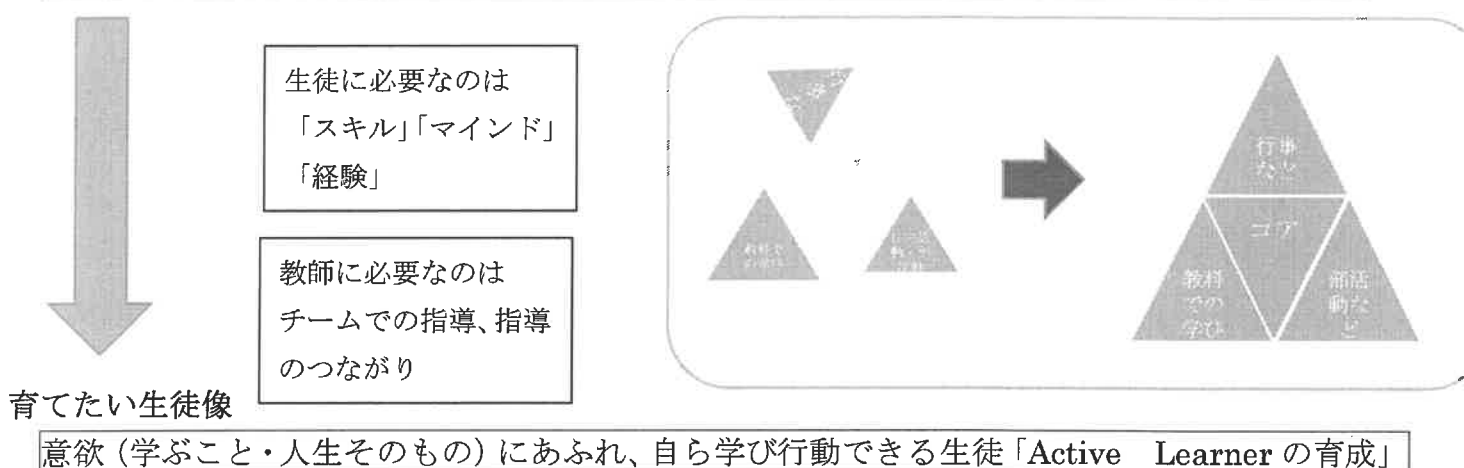
| よくある質問 | | 対応するところ |
|-----------------------------|---|-------------------------------------|
| ①なぜ総合的な探究の時間を実施するのか？ | ⇒ | 巻頭あいさつ |
| ②総合的な探究の時間のカリキュラムや内容、シラバスは？ | ⇒ | p 7～p 8、 p 32～p 33 p 59～p 60 |
| ③総合的な探究の時間をどのように教員に説明した？ | ⇒ | p 5～p 6 |
| ④1年間のまとめの面接試験（口頭試問）をどう実施した？ | ⇒ | p 34 |
| ⑤コア探究ってどんな授業？生徒はどんな反応？ | ⇒ | p 10～p 27 p 39～p 58 p 61～p 74 |
| ⑥文科省に報告した報告書はどんなもの？研究体制は？ | ⇒ | p 90～p 105 |
| ⑦探究授業の成果は（教員や生徒の変化など）？ | ⇒ | p 91、96～99 |
| ⑧探究授業に対する教員の受け止めは（感想など） | ⇒ | p 100～p 102 |
| ⑨探究授業に対する生徒の主な感想は？ | ⇒ | p 89～p 90など |
| ⑩コア探究の取り組みを短時間で理解したい。 | ⇒ | p 110～p 119 |
| ⑪キャリアパスポートの取り組みにつながる場所はどこ？ | ⇒ | p 15～23、30～31、 34～38 |
| ⑫生徒の作品や紹介記事は？ | ⇒ | p 112～p 116 |

担任会議説明資料 コア科目（高校）とは？

- ・アクティブラーナー育成の土台となる部分を育てる科目
(+社会・大学・将来につながる学び、課題研究をゴールとする附属らしい学びを体現する科目にする)
(+教員も成長する科目にする)
- ・よく使われる言葉で表現するなら 高校コア=キャリア+探究 , 探究=TOK+PBL+課題研究
- ・「学ぶ意義・学び方」「他者との関わり方」「自ら問いを立てること」「自己管理」「前向きなマインド」など、すべての教育活動の根っことなる力を、教員みんなまで育てていく。
- ・コアを担任中心に指導することで、コアの内容は自然と全教員に浸透し、各教科の指導はもちろん、部活動や行事などにも活かされる。生徒にとっては、指導されていることのつながりがより見えるようになる。

生徒たちの現状

従順だが口をあけて待っている生徒（教科学習・部活動・学校行事のすべてに共通した根底的な課題）



☆上記の解決策：コアを柱として教育の根っことなる力を育て、チーム立宇治で生徒を育てる

中学校「問いを立てて深く考える」「学びへの興味・関心」



高1「学ぶ意味・働く意味の理解」「将来の見通しを持つ」「ボランティア」
「学び方」「問いを立てる」「集団作り」「人との関わり方」



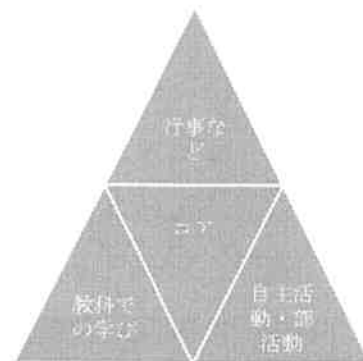
高2「自分事となる社会課題と出会い、マイプロジェクトを持つ」
問いをたてる力・課題発見能力・テーマ設定力などを育て、
マイプロジェクトを進める力を身につける

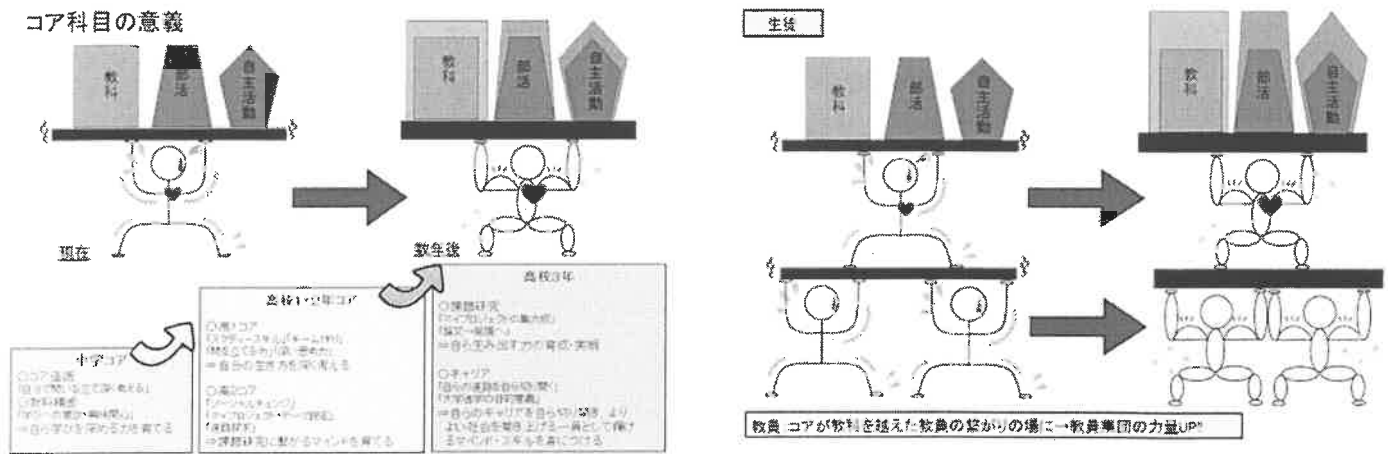


高3「学びの集大成としてマイプロジェクトにも関連する課題研究を仕上げ、社会に発信。より良い社会を自ら作っていける。自らの核を確かなものにして卒業する」
(前期で課題研究を仕上げる。PBLなどで自ら社会と関わる。発信しブラッシュアップする)



(ここに各教科での指導、部活動、学校行事なども加わることで)
学ぶことの意味を知り、将来への意欲にあふれ、大学以降で生きるアカデミックな力（課題研究を仕上げブラッシュアップする力）も身につけ、実際に行動にうつせる生徒になる。





(担当体制と運用)

高1 コア 2 単位=1 単位 (CSL) +1 単位 (コア)

CSL : 金曜日に各クラスで実施。学年・キャリア部・前年度担当者から 3 名程度担当者を決める
(2020 年度は田内・三井・吉留・(酒井))

コア : 水曜日 1 時間目に実施。担任+主任で担当。チームを作り、担任 100% 抱え込みにならないよう工夫。
(2020 年度は担任 8 名+主任)

高2 コア 1 単位

火曜日 5 時間目に実施。担任+主任で担当。チームを作り、担任 100% 抱え込みにならないよう工夫。
(2020 年度は担任 7 名+主任)

高3 コア 2 単位

金曜日 4・5 時間目に実施。月に一度程度の会議で内容を確認しながら進める。

(2020 年度は 7 クラスを 22 名で担当。担任+主任に加えて各教科からの担当者で担当)

(文科省研究開発指定文書) 2018 年 4 月ホームページ公開済み →2019 年度より WWL の一環として実施

1 研究開発課題

カリキュラム構造創出を促す日本版コア科目「総合的な探究の時間」の研究開発

～学びに向かう力や人間性等の涵養、および社会・世界と関わりよりよい人生を送ろうとする「アクティブラーナー」を育成するために～

2 研究の概要

日本版コア科目「総合的な探究の時間」の研究開発を行う。生徒をアクティブラーナーとして成長させていく上では、教科領域と教科外領域の関係性を高め教育課程全般の教育力を向上させていくことが大きな意味を持つ。これを可能にするカリキュラムと教育内容や評価方法を確立し学校として取り組んでいく。既存教科にばらばらにある探究的教育活動の共通項目やベースをコア科目に集中させることによりカリキュラムを精選し、トータルでアクティブラーナー育成に資する教育を提供するためのカリキュラムマネジメントの推進力とする。コア科目はすべての教育活動に通底する力を育てる、文字通り中核と位置づける。本研究では教員にとってはコア科目と教科の指導、生徒にとってはコア科目と教科の学習がどのような過程を経てつながっていくのかも明らかにする。これにより学校のカリキュラムマネジメント進捗を見える化し、そのモデルを明らかにする。

| 中高 | コース等 | 学年 | 単位数 | 教科 | 科目 | 検定教科書 | 副教材 |
|-------|--|--|--|------------|---|-------|--|
| 高 | IG | 3 | 2 | 総合 | コア探究Ⅲ | × | × |
| 到達目標 | <p>【課題研究の完成と発信、マイラーニングストーリー】</p> <p>①課題研究を仕上げ、その過程を通じてアカデミックなスキルを自らのものにする。</p> <p>②課題研究の内容を社会に発信する。発信はプレゼンのみでなく、プロジェクトへの参加なども含むが、発信をすることで自らの課題研究をブラッシュアップさせることができる。</p> <p>③リフレクションを通じてマイラーニングストーリーを完成させ、高い意欲をもって次のステージへ歩み出す</p> | | | | | | |
| 評価の観点 | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 | ③主体的に学習に取り組む態度 | 定期考査実施 | | | |
| | ・課題研究を仕上げるための基本的なアカデミックスキルを身につけている。 ・高校生活をふりかえる方法について理解し実践できている | ・自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ表現する力を養う。 ・自分の武器（課題研究）を活かして、自ら社会に対して何かを働きかける経験をする。それができる場所を判断できる。 | ・アウトプットを通じて、課題研究の修正や将来の目標の明確化など、自らの成長につなげることができる ・自分の高校生活のふりかえりから、卒業後の生活について高い意欲を持っている。 | | 中間 | 期末 | 課題点(%) |
| 評価の方法 | ・ループリック (授業で提示) | ・ループリック ・アウトプットの質や量 | ・コア探究への取り組み姿勢 ・マイラーニングストーリーの内容 | 1 学期 | × | × | |
| | | | | 2 学期 | × | × | |
| | | | | 3 学期 | | × | |
| | | | | 年間課題点平均(%) | | | |
| 期間 | 時間数 | 学習項目 | | | 学習到達目標 | | 評価方法 |
| 1 学期 | 中間まで | <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究 *1500 文字作文とテーマの確定 *3000 文字論文の提出と読み合わせ *中間発表 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・最低 8000 文字の課題研究を完成させる。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ループリック |
| | 期末まで | | | | | | |
| 2 学期 | 中間まで | <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の完成 ・ポスター作成とアクション発表 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究をポスターにまとめたものを完成させる。 ・マイラーニングストーリーを完成させる ・課題研究完成後のアクションを実行する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ループリック ・アウトプットの質と量 |
| | 期末まで | <ul style="list-style-type: none"> ・マイラーニングストーリー | | | | | |
| 3 学期 | 期末まで | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・課題研究の修正と完成 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究やマイラーニングストーリーなどを学外の人を含む場で発表。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ループリック ・プレゼンテーション |
| 備考 | 課題研究とそのポスター、マイラーニングストーリーの完成が単位認定条件である。1 月末の学習発表会で全員発表する。課題研究優秀者は表彰する。 | | | | | | |

コア探究Ⅲ 年間予定

Ver12(5月末)

★金曜日4時間目・5時間目

| 回数 | 月 | 日 | 内容 | 備考 |
|----|----|----|--------------------------------|----------------|
| | 4 | 10 | | |
| | | 17 | | |
| | | 24 | | |
| | 5 | 1 | | |
| | | 8 | | |
| | | 15 | | 担当者打ち合わせ |
| | | 22 | | 自習 |
| | | 29 | 顔合わせ1(現状報告) | |
| 6 | 5 | 5 | 顔合わせ2 | |
| | | 12 | 高3コアオリテ、今後の指示、 論証スケルトン、各自作業 | アウトライン+3000文字 |
| | | 19 | アウトライン作成 | この間に個別指導 |
| | | 26 | アウトライン作成 | 同上 |
| 7 | 3 | 3 | 3000文字論文 | |
| | | 10 | 3000文字論文 | |
| | | 17 | 中間発表 | |
| | | 24 | | スポーツの日 |
| | | 31 | | 終業式 |
| 8 | 28 | 28 | 各自作業 | 夏に6000文字仕上げている |
| 9 | 4 | 4 | 各自作業 | |
| | | 11 | 課題研究修正など | |
| | | 18 | 同上、ポスター予告 | |
| | | 25 | | 興風祭 |
| 10 | 2 | 2 | 課題研究の評価、ポスター作成 | |
| | | 9 | ポスター作成 | |
| | | 16 | ポスター作成、ポスター発表練習 | |
| | | 23 | 課題研究発表・グループごと | ポスターで発表 |
| | | 30 | 課題研究発表・グループごと | 同上 |
| 11 | 6 | 6 | | 口頭試問 |
| | | 13 | 課題研究発表(学年全体) | 学年集会・ポスター |
| | | 20 | リフレクション | LHRも活用 |
| | | 27 | マイラーニングストーリー | |
| 12 | 4 | 4 | 発表予告・課題研究の修正と加筆 | |
| | | 11 | 発表準備・課題研究の修正 | |
| | | 18 | 発表準備・課題研究の修正 | |
| 1 | 8 | 8 | | 始業式 |
| | | 15 | 発表準備・リハーサル | |
| | | 22 | 研究発表会 発表 | 全員発表 |
| | | 29 | コア探究の学び まとめ | |

(指標)

- * 95%以上の生徒が校内発表(学校外の人を含んだ場)
- * 50%の生徒がプロジェクトや課題研究をもって学校外で発表
(プレゼン(マイプロなど)、コンクール(懸賞論文など))する。

課題研究・ループリック① Ver2 (1月29日)

| | 5 (理想) | 4 (合格) | 3 (普通) | 2 (最低ライン) | 1 (不合格) |
|-------------------------------------|--|--|--|--|------------------------------|
| テーマ設定 (課題研究の 問い) | 豊富な先行研究等から研究目的や仮説が設定されており、学術的に意義がある。生徒がそのテーマにした理由がよくわかる。 | 先行研究等から研究目的や仮説が設定されており、生徒がそのテーマにした理由がわかる。 | 研究目的や仮説は設定されており、生徒がそのテーマにした理由もわかるが、先行研究などとテーマとの関連がわからない。 | 生徒が興味を持っている内容をテーマにしているが、仮説があいまいで確実に調べ学習で終わる。 | テーマを設定した理由がわからない。 |
| 内容 (資料やデータ の分析含む) | コンクールで入賞するなど、対外的に高い評価を得ることができるレベル。 | 他の人の興味を引くその生徒ならではの結論を、資料やデータをもとに論じている。 | 複数の意見を組み合わせながら、自分なりの考察ができてきている。 | 考察はしているが、内容が一般的であり、自分なりの答えではない | 資料の丸写しレベル。自らの考察がない。 |
| 引用* (情報 収集含む) | 書籍・論文を10以上引用している。 | 書籍・論文の引用が7~9 | 書籍・論文の引用が4~6 | 書籍・論文の引用が1~3 | 書籍・論文の引用がない |
| お作法 | 誤字脱字、入力ミスなど初歩的なミスが1つ以下。 | 誤字脱字、入力ミスなど初歩的なミスが3か所まで | 誤字脱字、入力ミスなど初歩的なミスが6か所以下 | 誤字脱字、入力ミスなど初歩的なミスが7~14か所 | 誤字脱字、入力ミスなど初歩的なミスが15か所以上 |
| ポスターの完成度 (工夫には情報 の取捨選択 含む) | 研究内容を把握することができ、見た人が研究成果をすぐに把握できるよう工夫されている。 | 研究内容を把握することができ、伝えたいことが何かがわかるよう工夫されている。 | 最低限必要なことが書かれており、研究内容を把握することができる。伝え方を工夫しようとはしている。 | 仮説、先行研究、研究の結果など、ポスターとして最低限必要な内容が書かれている。 | 研究内容について把握することができない。 |
| キャリア (ふりかえり で評価する) | 課題研究と自分の進路がつながっている。本人が大学での学びと課題研究の学びのつながりを明確に説明できる。 | 3と5の間 | 課題研究と自分の進路につながりについて、自分なりに表現することができる。 | 3と1の間 | 課題研究の取り組みと自らのキャリアのつながりが全くない。 |
| アウトプット | 学外でのプレゼンを含むアウトプット5回以上。または課題研究に関連するプロジェクトを立ち上げる。 | 学外でのプレゼンを含むアウトプット3回以上。または課題研究に関連するプロジェクトに参加する。 | 課題研究のアウトプットを発表会など何らかの形で学校外の方の方も参加できる場で行った。 | 課題研究のアウトプットを何らかの形で行ったが、聞き手は学校内の人のみ。 | 課題研究を仕上げて終わりに。アウトプットをしていない。 |


<最低ライン> ・アカデミックオネスティー ・文字数は8000文字以上

*引用について、アンケートやフィールドワークを実施した場合4つの引用とカウントする。

コア探究Ⅲ (6月12日)

～オリテ・1学期の予定～

Your Link to the World




改めて確認! (先週金曜日のHRを思い出そう)

①大学は学部 を決めて入学する
 スポーツについて学びたい(今野先輩) ← 学びたいことが何かを知っていることが重要!
 地域について学びたい(高島先輩)

②いろいろな活動をするのが大事!
 インターン、プロチームとのプロジェクト、、、(今野先輩)
 伊根町、Rimix、、、(高島先輩) ← 学校外とつながることが重要!

これらがコア探究Ⅲで取り組むこと!



コア探究の3年間


| | | | |
|-----|-----------------------|-------------|---|
| 探究1 | • 問いを立てることから学ぶ意味の探究 | 1 年 生 | • 学習スキル • ソーシャルスキル • チームビルディング • キャリアデザイン • リフレクション |
| 探究2 | • 学びや経験を自分の未来とつなぐ | | |
| 探究3 | • 自らが解決したい社会課題の設定 | 2 年 生 | • 社会課題解決 (PBL) × キャリア • ISN国際協働 • 研究テーマ × キャリア • テーマ設定 |
| 探究4 | • 自分の探究テーマ・研究課題の設定 | | |
| 探究5 | • 自らのキャリアと結びついた課題研究完成 | 3 年 生 | • 課題研究完成 • 課題研究発信 • 課題研究のプロジェクト化 |
| 探究6 | • 課題研究の発信やプロジェクト化 | | |

1学期のミッションは2つ!

①アウトライン(目次)作成

②3000文字チャレンジ

6月12日・29日・26日、7月3日・10日で作成
→7月17日に中間発表



<1年間の予定>

シラバスも見ること!

大学以降の学び方!

卒業!

<今年度作成する成果物>

- 課題研究 (8000文字以上)
- ポスターなど
- マイラーニングストーリー

1500文字レポート
自分マネフェスト

発表

課題研究 (発表済!)

マイラーニングストーリー

いろいろな発信!

ポスター

発表

課題研究 (発表済!)

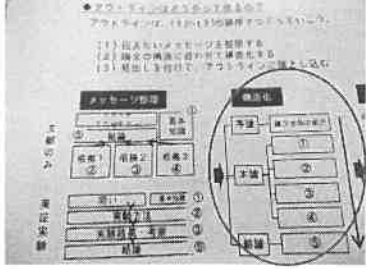
<必須!>

- 1月末の発表
- 課題研究の何らかの発信


4月
9月
1月
3月

①アウトライン(目次)作成

アウトライン=論文の骨格、目次
 (アウトラインに文章を肉付けしたものが論文になる)



日本語Ⅱの1500文字レポートがアウトラインになる!



アウトラインの例

日本の医療制度を変えるべきか？ ← 課題研究の問い

はじめに ← このテーマにした動機、このテーマの重要性など

1、日本の医療制度の現状 ← 課題研究の問いの基本知識


2、日本の医療制度の良い点

3、日本の医療制度の問題点

4、海外と比較した解決策の示唆

仮説とその根拠がここに来る場合が多い。アンケート・実験の結果などもここ。

結論 ← 課題研究の問いの答え。言いたいこと



アウトライン作成は難しい！

* 自分の問い、根拠や結論を明らかにする必要がある。


* 作成にあたって情報収集がすごく大事

↓

書いているうちに見えてくることもある。
書いているうちに変わることもある。
＝とにかく書き進めるのが大切

↓

3000文字チャレンジ



アウトラインの作成練習①

スマホによって勉強時間を邪魔されない方法 ← 課題研究の問い

はじめに ← このテーマにした動機、このテーマの重要性など

1、スマホの現状 ← 課題研究の問いの基本知識

2、スマホを遠ざける大切さ


3、○○○○○

4、自分と友人で実験した結果

仮説とその根拠がここに来る場合が多い

スマホを遠ざげ、友人にも伝えておく ← 課題研究の問いの答え


○○○○○に入るものの例は？



②3000文字チャレンジ

* 基本的には課題研究のはじめから3000文字を書く
(はじめに+本論の1か2あたりまで)

* オプションとしてコンクール応募も推奨します！
＝3000文字以上でひとまとまりの文章を書く
(いろいろなコンクールは後日紹介します)



アウトラインの作成練習②

日本は選挙の投票率を上げるためにできることは？ ← 課題研究の問い

はじめに ← このテーマにした動機、このテーマの重要性など

1、日本の投票率の現状 ← 課題研究の問いの基本知識

2、学校教育の課題


3、選挙に行かない人の声

4、棄権に罰則を設けるべきである

仮説とその根拠がここに来る場合が多い

5、オーストラリアで投票率を上げた方法 ← 課題研究の問いの答え

おかしいところを修正しましょう！



1学期のミッション確認


①アウトライン(目次)作成

②3000文字チャレンジ

6月12日・29日・26日、7月3日・10日で作成
→7月17日に中間発表

すでに1500文字は書いています！
それをベースにすれば大丈夫！！

日本語選択者は
授業で採点して
返却します



課題研究アウトライン

*この用紙は何度も書きなおす！ *この用紙を元に先生に助言もらう！

3年（ ）組（ ）番（ ）

*課題研究は通常以下のような構成になる。

問い→序論（研究動機やテーマの重要性）→本論1（テーマに関する基礎知識）

→本論2（仮説とその根拠を3つ程度）→結論（課題研究の問いの答えなど）

①課題研究の問い（リサーチクエスション）

②結論として言いたいこと（←ここは最後に書いても良い）

③②の根拠となる仮説、その仮説が成り立つ理由（仮説は3つ程度書くこと）

| | |
|-------|------|
| 【仮説1】 | 【根拠】 |
| 【仮説2】 | 【根拠】 |
| 【仮説3】 | 【根拠】 |

★課題研究完成后、どのように発信やプロジェクト化をしたいと思っているか？

①問い（～か）

〈論証〉以下の②～**で論証を行う

②問いに対応した主張を1つ書く

③②が言える（主張の正しさを支える）**理由**（なぜなら～だからである。）

④**反論**（**理由**の矛盾、証拠不足、別の方法、重要性があるのかなどを指摘する）

⑤④の反論となる**事実**（複数可）→これによって②はより強化される

チ
エ
ツ
ク
1

⑥問いに対応した主張を1つ書く（②と別のもの）

⑦⑥が言える（主張の正しさを支える）**理由**（なぜなら～だからである。）

⑧**反論**（**理由**の矛盾、証拠不足、別の方法、重要性があるのかなどを指摘する）

⑨⑧の反論となる**事実**（複数可）→これによって⑥はより強化される

チ
エ
ツ
ク
2

⑩問いに対応した主張を1つ書く（②⑥と別のもの）

⑪⑩が言える（主張の正しさを支える）**理由**（なぜなら～だからである。）

⑫**反論**（**理由**の矛盾、証拠不足、別の方法、重要性があるのかなどを指摘する）

⑬⑫の反論となる**事実**（複数可）→これによって⑩はより強化される

チ
エ
ツ
ク
3

1) ポスター作りにつながる問い

(1) 自分が評価した課題研究が明らかにしたことはズバリ何？

(2) どのような課題が残っているのか？

2) 課題研究・自己評価

①各観点の5段階とそのようにした理由

| 項目 | 点数 | 理由 |
|-------|----|----|
| テーマ設定 | | |
| 内容 | | |
| 引用 | | |
| お作法 | | |

*ポスター完成度、キャリア、アウトプットは課題研究では評価不可能。後日評価。

②改めて自分の課題研究を評価

良いところ：

改善すべきところ（より良くするために）：

課題研究の成果を今後どうする？（プレゼン、プロジェクト化、どこかに使う）：

3) 課題研究他己評価 課題研究作成者名()

①各観点の5段階とそのようにした理由

| 項目 | 点数 | 理由 |
|-------|----|----|
| テーマ設定 | | |
| 内容 | | |
| 引用 | | |
| お作法 | | |

②コメント（よかったところ、すごいと思ったところ、改善すべきところなど）

※「特になし」はその人の成長につながりません。必ず何かしらのコメントを残すこと！

コア探究Ⅲ(11月20日)

～高校生活のリフレクション～

Your Link to the World

R

リフレクションとは？

リフレクションは反省ではない！

未来を見据えながら過去を振り返ってみる

過去を振り返ることで、未来の自分を見つめなおす

R

当面の予定

11月20日(金)(コア探究・LHR)
→高校生活のリフレクション

11月27日(金)
→マイラーニングストーリー作成

12月4日(金)
→作成続きor課題研究・ポスターの完成

12月11日(金)～
→課題研究・ポスター完成へ！

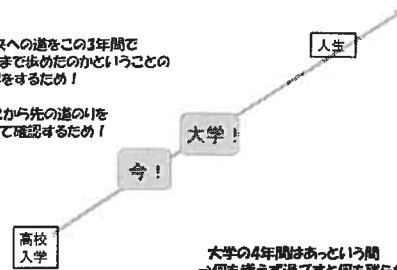
R

なぜ高校生活を振り返るのか？

どう思いますか？

★将来への道をこの3年間でどこまで歩めたのかということの確認をするため！

★ここから先の道のりを改めて確認するため！



R

今日の授業について

高校生活をふりかえる！

●おらい

- ①高校生活の出来事を思い出し、学びや成長を言語化できる。
- ②自分が成長した要因を言語化できる。

●今日の大切なルール:他の人との共有も一部ある前提で作業する

- ・書きたくないことは書かなくてよい
- ・言いたくないことは言わなくてよい
- ・自分としっかり対話する
- ・ポジティブ(成長) > 反省(残った課題)に！おおよそ7:3くらいが目安！

●今日の授業で使えるもの・役に立つもの

- ・classiのポートフォリオ
- ・高校生活の写真

R

ふりかえりのレベル

LV3は必ず到達できるので、LV4や5を目指すこと

LV1:事実の言語化

(例:勉強を頑張った)

LV2:事実に対する感想の言語化

(例:勉強を頑張って成績が上がった)

LV3:結果に対する気付きの言語化

(例:テストを終えて高校で必要な勉強法は中学校と違うことがわかった)

LV4:振り返りを一般化、教訓化

(例:ステージが上がると求められるものも変わる。暗記ではなく理解が大事。もちろん暗記というプロセスはあっても、それはゴールではない！)

LV5:教訓を受けて次にすべきこと(大学以降含む)がわかる

(例:大学でまた次のステージに上がる。理解を越えて、自分で理論的に主張をまとめることが重要。今からその練習はできる)

R

高校入学時の目標は？

ワークシートの1)に箇条書きで記入

- (例)(いくつでもよい)
- 文武両道で頑張る
 - 将来の夢を見つける
 - クラスで全国大会出場



ここまでの高校生活(主なもの)① 写真!

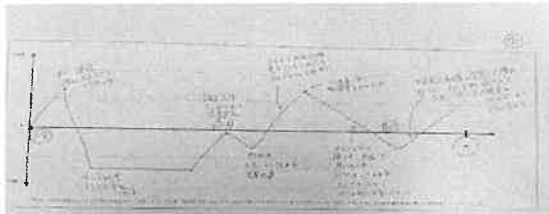


高校生活グラフを描いてみよう

高校生活グラフとは？

- * 高校生活スタートから今までの気持ちの状態をグラフにしたもの。
- * グラフが上下しているところにはその時の出来事や気持ちを書く

書く前に
高校生活を
思い出そう!



(注意) 書くたくないことは書かなくてもよい

ここまでの高校生活(主なもの)② 高2

- 4月: 校外学習
- 5月: 体育祭(このあと各クラブで先輩が引退していく)
- 6月: 興風祭オーデション
- 9月: 興風祭
- 10月: 科目選択、生徒会選挙(自分たちの代になる!)
- 12月: 学年企画(グラウンドにて)
- 1月: 研修旅行行先最終決定
- 2月末: コロナ禍により登校禁止となる
(学年企画などすべてキャンセル)

コア探究Ⅱ「課題設定力を高める」
前半: 地域課題解決(京都北部、宇治市)
後半: 探究課題の設定(卒論のテーマ設定)



ここまでの高校生活(主なもの)① 高1

- 4月: 入学式、新入生合宿
- 5月: 体育祭、はじめてのテスト
- 9月: 興風祭
- 10月: 科目選択
- 12月: 学年企画(グラウンドにて)
- 3月: 学年企画(太陽が丘の体育館にて)
宇治市フィールドワーク
口頭試問

コア探究Ⅰ

CSL: 人とかかわり、なぜ学ぶ?なぜ働く?
ボランティア活動など
コア: 問を立てる(教科を学ぶ意味)、チーム作りなど



ここまでの高校生活(主なもの)② 写真!



ここまでの高校生活(主なもの)③ 高3

- 4月～5月: コロナのためオンライン学習
- 6月: 登校再開 → 少しずつクラブも再開、そして引退
- 9月: 体育祭、興風祭
- 10月: 今年度初のテスト(10か月ぶり!)、
内部進学・学部最終登録
- 11月: 口頭試問←今ココ!
- 2月: 研修旅行、学年企画など
- 3月: 卒業式

コア探究Ⅲ「課題研究の完成と発信、高校生活のまとめ」
前半: 課題研究の完成
後半: 課題研究の発信、高校生活のまとめ



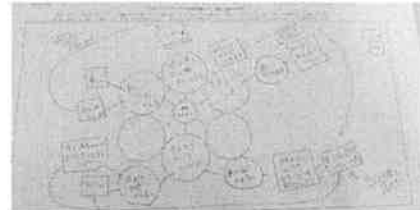
(時間があれば)

マッピングシートを描いてみよう

余力ある人

高校生活グラフから経験を最大6つ抜き出して、
経験に関する事実や感情を書き出していく。

例) 事実: テストで欠点が3つ、クラブでレギュラーになれず
感情: ショック、投げやりな気持ちになる、どうせ自分なんて、、と思う



ここまでの高校生活(主なもの)③ 写真!



高校生活をふいかえろう!

10分×4

- ①学習 ②クラブ・自主活動・行事
③コア探究 ④その他

①～④のそれぞれについて、下のA、B
の視点で考える

- A 成長したこと・上手くいったこと
B 成長できなかったこと・課題として残ったこと

* コア探究は自分マニフェストでもふいかえれます!
* classiのポートフォリオや高校生活の写真を見て
思い出しましょう!

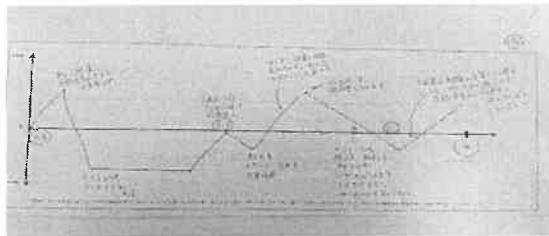


高校生活グラフを描いてみよう

10分+α

高校生活グラフ→

- * 高校生活スタートから今までの気持ちの状態をグラフにしたもの。
- * グラフが上下しているところにはその時の出来事や気持ちを書く



高校生活をふいかえろう!

10分

- ①学習

- A 成長したこと・上手くいったこと
B 成長できなかったこと・課題として
残ったこと

Classiのポートフォリオも参考にできます!




多分次のスライドから5時間目

高校生活をふりかえろう！ 10分

④その他

A 成長したこと・上手くいったこと
B 成長できなかったこと・課題として残ったこと

* 周りの人とこれまでに書いたものを共有しながら、
 ごさまでに書けなかったことを！




高校生活をふりかえろう！ 10分

②クラブ・自主活動・行事

A 成長したこと・上手くいったこと
B 成長できなかったこと・課題として残ったこと

* classのポートフォリオや高校生活の写真を見て
 思い出しましょう！



ここまでを整理しよう！ 3分+2分+
5分+5分
(目安)


～以下の質問に答えましょう～

①ここまで振り返って気づいたことは？
 (箇条書き・なるべく多く)

②高校で自分が一番成長した経験は？
 どう成長した？なぜその経験？

③高校生活がこのようになった要因は？

④高校生活をふまえて、どのような大学生活を送りたいですか？



高校生活をふりかえろう！ 10分

③コア探究


A 成長したこと・上手くいったこと
B 成長できなかったこと・課題として残ったこと

コア探究Ⅰ
 CSL: 人のかかわり、なぜ学ぶ？なぜ働く？、ボランティア活動など
 コア: 問を立てる(教科を学ぶ意味)、

コア探究Ⅱ「課題設定力を高める」
 前半: 地域課題解決(京都北部、宇治市)
 後半: 探究課題の設定(卒論のテーマ設定)

コア探究Ⅲ「課題研究の完成と発信、高校生活のまとめ」

* コア探究は自分マニフェストでもふりかえれます！
 (提案一覧配布します)



多分次のスライドから6時間目

10分+
4分×3

経験から教訓を導こう！①

～4時間目・5時間目のふりかえりをふまえて考えましょう～

★まずは3人でグループを作り、5時間目最後のワークで書いたことを共有しましょう(3分×3)。
→2分程度で語り、残り1分は感想を伝えるのが基本。

①高校での成長・成功(継続したいこと)を3つ～5つ箇条書きで書きましょう

②①で書いたことに共通する要因は？

③成功体験やその要因を再現するためにできることは？

R

～時間あればクラス内で共有しましょう～

来週の予告

「マイ・ラーニングストーリー」作成

- ・高校の自分の成長をポスター(パワポ)で表現
- ・必ず入れる項目は以下の通り

- ①自分の成長の軌跡(学年ごと)
- ②①から選ぶ自分の成長ベスト5
- ③残った課題=大学でつけたい力 ベスト3
- ④高校のエピソードや感想、写真などを適宜入れる
- ⑤大学での生活や将来への抱負
(こんなことを頑張る！こういう経験をする！)
- ⑥将来こんな人になる、こんな仕事につく
→⑥は自分マニフェストを見ればベースがあります！

R

3分×3

経験から教訓を導こう！②

～4時間目・5時間目のふりかえりをふまえて考えましょう～

①高校で成長できなかったこと(残された課題)を2つ～3つ箇条書きで書きましょう

②①で書いたことに共通する要因は？

③①②で書いたことを改善するためにできることは？

成長・成功の要因や再現するためにできることについても思い出したことがあれば書き加えましょう。

R

～時間あればクラス内で共有しましょう～

R

5分×2

最後のまとめ

①4時間目～6時間目を通して学んだことや気づいたことを書きましょう。
→ワークシート2)に記入すること

②今日の感想、残された高校生活や大学以降の目標と決意を書きましょう。
→ワークシート3)に記入すること

R

～時間あればクラス内で共有しましょう～

R

●今日のねらい

①高校生活の出来事を思い出し、学びや成長を言語化できる。

②自分が成長した要因を言語化できる。

●今日の大切なルール：他の人との共有も一部ある前提で作業する

- ・書きたくないことは書かなくてよい
- ・言いたくないことは言わなくてよい
- ・自分としっかり対話する
- ・ポジティブ：ネガティブの目安は 7:3

●今日の授業で使えるもの

- ・classi のポートフォリオ
- ・高校生活の写真

1) 入学時の目標は？

2) 高校生活グラフ、マッピングシートを作成しよう（20分。グラフが早くできたらマッピングシート作成）

3) 以下の①～④について、A「成長したこと・上手くいったこと」 B「成長できなかったこと・課題として残ったこと」の視点で振りかえろう。その様子を表す写真もあれば見つけよう。箇条書きで多く書くこと。

| | A「成長したこと・上手くいったこと」 | B「成長できなかったこと・課題として残ったこと」 |
|----------------------|--------------------|--------------------------|
| ①学習 | | |
| ②クラブ・ 自主活動・ 行事 | | |

| | A「成長したこと・上手くいったこと」 | B「成長できなかったこと・課題として残ったこと」 |
|-------|--------------------|--------------------------|
| ③コア探究 | | |
| ④その他 | | |

4) ここまでのリフレクションの整理

①高校生活を振り返って気づいたことは？（なるべく多く箇条書きで）

②高校で自分が一番成長した経験は？その経験を通じてどう成長した？なぜその経験が一番だと思う？

| | |
|------------|--------------|
| 経験： | |
| (どう成長した) | (なぜその経験が一番?) |
| | |

③高校生活がこのようになった要因は？

④高校生活をふまえてどのような大学生活を送りたいですか？

★6 時間目 「振り返りから教訓を導く！」

～4 時間目・5 時間目の振り返りをふまえて、ここまでの高校生活の経験から教訓を導きましょう～

0) 3 人グループ。5 時間目の最後に整理した内容を共有。(3 分×3)

(内容メモなど)

1) 改めて経験の整理→教訓作り (箇条書きで時間いっぱいなるべく多く書くこと)

| 高校での成長・成功 (継続したいこと) | 高校生活で残った課題 |
|---------------------|------------|
| | |



| | |
|-----------------|-----------------|
| (上のことに共通する要因は?) | (上のことに共通する要因は?) |
|-----------------|-----------------|



| | |
|-----------------------------|------------------------|
| (上記の要因・成功体験を再現するためにできることは?) | (上記の要因を改善するためにできることは?) |
|-----------------------------|------------------------|

2) 4 時間目～6 時間目を通じて学んだことや気づいたことを書きましょう。
(時間いっぱいなるべく多く書くこと) (箇条書き可)

3) 今日の感想、残された高校生活や大学以降の生活の目標と決意を書きましょう。
(時間いっぱいなるべく多く書くこと) (箇条書き可)

来週の予告 「マイ・ラーニングストーリー」作成

・高校の自分の成長をポスター (パワポ) で表現

・必ず入れる項目は以下の通り

①自分の成長の軌跡 (学年ごと) ②①から選ぶ自分の成長ベスト5

③残った課題＝大学でつけたいかベスト3 ④高校のエピソードや感想、写真など (適宜入れる)


⑤大学での生活や将来への抱負 (こんなことを頑張る! こういう経験をする!)

⑥将来こんな人になる、こんな仕事につく →⑥は自分マニフェストを見ればベースがあります!

コア探究Ⅲ (1月29日)

～学びのふりかえり～


Your Link to the World




最も大切なこと 高1コア初回

お客さまからの脱却


お客様モデル



生産者モデル




成長のために大切なのはここ！



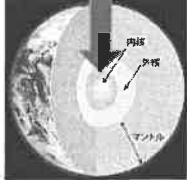
コア探究 最後の問い

- ① 私たちは何を学び、どんな力をつけたのだろうか？
- ② なぜコア探究は「コア」なのだろうか？




コアとは？

コア(CORE) = 惑星・衛星などの核。光ファイバーの芯。
中心部・核という意味。



コアの授業は、様々な学びの中心となるもの。

コアの授業は核となるものを育てる授業。

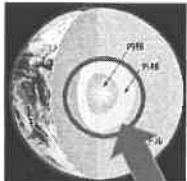


コア探究の3年間


| | | | |
|-----|-----------------------|-----|---|
| 探究1 | • 問いを立てることから学ぶ意味の探究 | 1年生 | • 学習スキル • ソーシャルスキル • チームビルディング • キャリアデザイン • リフレクション |
| 探究2 | • 学びや経験を自分の未来とつなぐ | | |
| 探究3 | • 自らが解決したい社会課題の設定 | 2年生 | • 社会課題解決 (PBL) × キャリア • ISM国際協働 • 研究テーマ × キャリア • テーマ設定 |
| 探究4 | • 自分の探究テーマ・研究課題の設定 | | |
| 探究5 | • 自らのキャリアと結びついた課題研究完成 | 3年生 | • 課題研究完成 • 課題研究発表 • 課題研究のプロジェクト化 |
| 探究6 | • 課題研究の発信やプロジェクト化 | | |

コアとは？


- ① 生産者になるためのエッセンス(スキル、マインド)を育てる授業。
- ② 総合的な探究の時間として、3年間実施。
- ③ 高1ではコアとCSLの2時間がある。




コアが教科やクラブ・行事のより良い学びにつながり、逆に教科などでの学びがコアの学びを支える。



高1 CSL(学ぶ意味を考える)



AI「社会のルールは頭のいいやつ都合のいいように作られているんだ!」
「だまされなくなかったら、損して負けなくなかったらお前ら勉強しろ!」



「お前ら、頭いいやつは、損するな。お前ら、勉強しろ。」


高2 コア探究 (目標と内容)

目標 「自分ごととなる課題を設定する力を伸ばす」

A、長い時間かけて明らかにしたい自分の研究課題を設定することができる。 ← **後半!**

B、実社会での経験もふまえ、自らが解決すべき(解決したい)社会課題や研究課題を設定することができる。 ← **前半!**

社会との関わりで研究テーマや進路が見えてくる!
(そうなる取り組みにする!)



感想(多かったもの)

(コア)
 ・とても有意義な授業だった。先生たちがなぜ各教科を学ぶのかを伝えてくれたので、改めて教科を学ぶ意味を考えました。なぜ学ぶのか、なぜ働くのかはこれからの将来で必ず大切なことだから、考える機会があつてよかった。
 ・今こうやって1年間を振り返ってみるとこれからの人生で必ず必要となってくるようなことを身につけることができていることに気づきました。


(CSL)
 ・コア同様、将来役に立つようなことを多く学ぶことができました。
 ・CSL活動ではボランティア活動で社会と関わることがたくさんあつた。学んできたこと、たとえば人との関わり方や自分から動くといったことがいかされていると思った。
 ・自分のことを知ることができた。それがわかったときに今何が必要なのかを考えられるようになった。CSL授業でもっと深く自分と見つめあえたような気がする。

高2 コア探究 (前半期)

HOP
 ・事前学習
 ・校外学習
 課題設定・情報収集が重要

STEP
 ・北部魅力化の提案
 ・(グループ)
 構想力が重要

JUMP
 ・宇治市魅力化の提案
 最後は宇治を考える!



なぜコア探究? コアとは? ついた力は?


★なぜコアの授業があると思いますか? コアとは何ですか?

- 自己形成するもの。学んだことを自分でどう生かすかが問われる。
- 良い大人になるために社会に出てもやっていける人になるためのコア
- 勉強や部活など世の中には様々なことがあるけど、それを上手くやっていくための術がコア。
- コアは自分の中心となるものを強くするためのもの

★ついた力
 (コア)
 チーム作りやチームで動く力、問いを立てる力、自分で考える力、自己分析力


(CSL)
 コミュニケーション力、自分と向き合う力、ストレス対応

アイデア例 (何も作らなくてもできる魅力化)



宇治市中心部の旅館、政府指定旅館(現状かなり寂れている)にロボット、AIを導入する。
 事実:「変なホテル」という名で既に存在しているホテル全国に16箇所存在する。予約困難!

政経選択者はさらにブラッシュアップ!



かしこさの定義は大人になると変わる！

| | 旧来の学校教育 | 大人の社会 <small>実践的な学び</small> |
|-----------|-------------------|-----------------------------------|
| どんな課題が出る？ | 指示された範囲内 | 自分で見つける 目的は自ら確認する |
| 誰と解くか？ | ひとりで解く | チームメンバーと協働して考える |
| 解いてる間は？ | 無言 | コミュニケーションしまくり |
| 答えは？ | ひとつ (である場合が多い) | ひとつじゃない 最適解を考えて、PDCAを回しながら見定める |
| 道具は？ | 鉛筆と消しゴム | 使えるものは何でも使う |
| わからなければ | 教えてもらう | 自分でアドバイスをもらえ る人を探して、自分から探しに行く |

13

感想(多かったもの)

- 自分の興味を持つ分野や疑問をしっかりと考えられる1年だった。今まで考えたことのなかったようなことについてよく考えることができた。
- 問いを立てて、それを解決することの難しさがわかった。答えがない問いに対して、自分がどうやって取り組んでいくのかを学べた。
- 自分の核となるものについてよく考えた。昔際の授業では学べない力を養うことができた。

R

課題研究 = 世界に1つしかない自分だけの作品

↓

自分の進路・学問につながる！

↓

自分が生涯かけて取り組みたい学問やプロジェクト

が、生まれるといひあ

これから、1年かけて深めていきます。

R

なぜコア探究？コアとは？ついた力は？

★なぜコアの授業があると思いますか？コアとは何ですか？

- すべてにつながるからだから
- 他教科で学べないことだから
- 将来大切なことを学ぶ
- 答えのない問いに取り組む力をつける

★ついた力

- 課題発見、課題設定をする力
- 情報収集、調べる力
- 課題解決力
- 自分のことを考える力
- 問いを立て考える力

R

可能性は無限大！

やりたいことがプロジェクトとして実施できる！？

地域課題解決型PBL参加できる！？

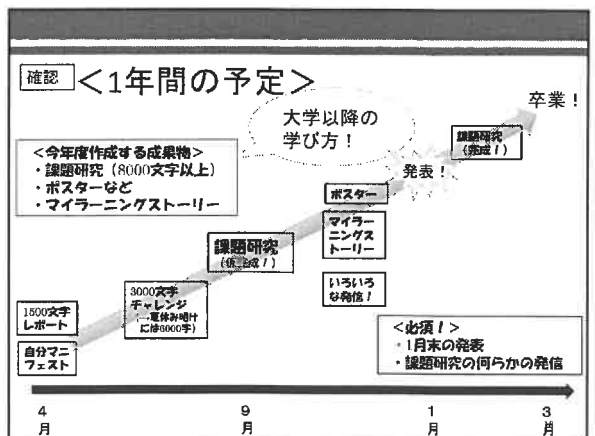
国際交流コラボ企画に参加できる！？

文科省やOECDとのコラボ企画になる！？

マイプロジェクトとして日本のモデル！？

コア探究1期生として形にできる！！

R



コア探究 最後の問い

- ① 私たちは何を学び、どんな力をつけたのだろうか？
- ② なぜコア探究は「コア」なのだろうか？



コアで最も大切なこと(最後に)

見たい景色は？

登りたい山は自分にしか決めれない



結局は自分次第

すべての条件がそろふことはない。
社会には理不尽なことがある。
そんな現実の中で自分から動けるか。

…これは先生たちにも当てはまること。

未来はともに創るもの

大学以降のみんなに期待します！

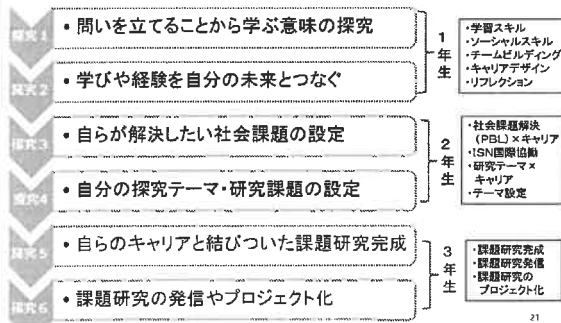


杉浦先生から一言

- ・3年間コアを担当して
- ・みんなへのメッセージなど



コア探究の3年間



日記の記録と人間力向上の関係性

No.

Date

○年○月○日 天気：晴れ

3-10-24 西岡 太陽

【要約】

私は6年程日記を記録しているが、ここまでの人生でこの日記に何度も助けられている。また大きなことを成し遂げた人や人生を楽しんでいる人の多くが日記を記録している。日記を記録すること、自身の人生を力強く生きていくための人間力の向上には何か関係があるのだろうか。本論文では日記が私たちにもたらす効果を吟味したうえで人間力向上に最適な日記の記録方法と、これからの未来を担う人間力の高い人材を教育するため、児童・学生の教育への「日記教育」の取り組みを提案したい

【研究方法】

人間力を、「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義し、日記がこれらの能力を向上させるためにどのようなメリットがあるのかを示す。

日記の効果とメリットを示した上で、児童・学生の教育に日記を組み込んでいきたい

【書く力の向上とその効果】

- ① 書く行為は脳に大きな影響を与える
→脳幹網様体賦活敬系
特に記憶力に効果があり、習慣的に脳に刺激が入る
- ② 何度も文章を書く→フィードバックを行うのサイクルで文章力が上がる
- ③ タイピングよりも「書く」方が脳により刺激が入り、大きな効果を得ることができる

【ストレス解消と精神・自律神経の安定】

- ① 日記を書くことで自己洞察力が鍛えられ、自分を省みる能力も高まり、自分の性格や考え方の欠点、短所も客観的に把握できるようになる
- ② 日記を書くことでレジリエンス（ストレス耐性）が高まり、しなやかな心を手に入れることができ上手に自身の感情をコントロールできる
- ③ 最近では「日記療法」という精神療法が出てきて、医療でも注目されている

【自己肯定感（自尊心）の向上】

自己肯定感…自分を好きになり、他人と同じように自分も素晴らしい人生を創造するに値する人間だと信じる気持ちで、これは「6つの感」で支えられている

- ・ 自分には価値があると思える感覚
- ・ ありのままの自分を認める感覚
- ・ 自分にはできると思う感覚
- ・ 自分を信じられる感覚
- ・ 自分で決定できるという感覚
- ・ 自分が何かの役に立っている感覚

日記が人間力向上に効果がある



私が提案する効果的な日記の書き方

→行動記録日記と感情記録日記の融合版

- ・ 自分がその日何をしたか（何時起床など、基本的なことでも構わない。その日目標に向かって何ができたか、できなかったかなど。）
- ・ その日自分はどのような出来事に対してどのような思い、感情を抱いたのか（～を見て自分も頑張ろうと思った）
- ・ 感情記録日記では、自分の思ったことを正直に書く
→ポジティブ日記というものもあるが、私は無理やり気持ちを良い方向にもっていくのではなく、自分の現在の感情を理解し、改善する方が有効であると考えている。

私が提案する日記の児童・学生教育への取り組み

- 難易度1 自分で一日3行日記から毎日することを始める
- 難易度2 家族または兄弟と日記を一緒に書いてシェアする
- 難易度3 学校などの親しい友達と一緒に日記を書いてシェアする（交換日記でもよい）
- 難易度4 先生に日記を見せてフィードバックをもらう
- 難易度5 完全プライベートな要素を省き、SNSなどで自身の考えなどを公開する

※フィードバックをする際の注意点

- ①文章が正しいか、正直に書けているか
- ②日記の内容はその人の人生なので否定せずアドバイスをする

今回の論文では、一体どれほどの数の学生が日記を記録しているのかなどといった細かなデータを手に入れるまでには至らなかった。今後はより細かなデータを手にし、また様々な人の日記を記録した上での効果をデータにとったりしてさらに深く今回のテーマを吟味していきたい

【主な参考文献】

「自己肯定感の教科書」 中島 輝著 SBクリエイティブ株式会社2019年2月27日
「自己肯定感ノート」 中島輝著 SB クリエイティブ株式会社2019年11月22日
「日記の効果を最大限得る！ 夢の実現、仕事の成功に直結する、日記の効果的なつけ方」
<https://studyhacker.net/columns/morning-diary-pdca#:~:text=%E6%97%A5%E8%89%88%E3%81%AF%E3%80%81%E8%84%B3%E3%81%AE%E6%84%B8%E6%80%A7,%E5%AE%9F%E8%8A%18%E3%81%97%E3%81%9F%E3%81%84%E3%82%B2%E3%81%AE%E3%81%A7%E3%81%99%E3%81%AD%E3%80%82>
「アウトプット大全」 樺沢 紫苑

～若者をマンガ消費のターゲットにすべきか？～

0507 上村美智

～マンガ産業の危機～

娯楽コンテンツの多様化によって、紙媒体のマンガを読む若者が減少傾向にある。

→→マンガ産業は確実に“衰退”の一步をたどっている。

☆なぜヒットした？☆

『鬼滅の刃』

週刊少年ジャンプ
“子供読者の減少”



アニメ化

SNS

売上up!

☆若者の力☆

①SNS（中学生～）

②模倣（幼児～小学生）

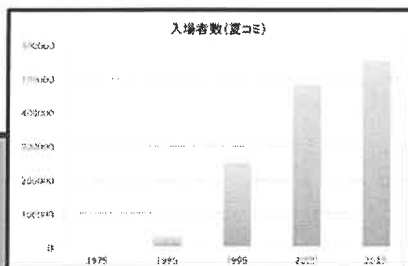
→ほかの子に伝染！



☆コミックマーケット☆

2019 夏冬で**140万人超！**

経済効果：**180～200億円**



☆聖地巡礼☆

『らき☆すた』

→聖地に**31億円！**



～提案～

①プログラミング×キャラクター

小学校でのプログラミング教育必修化を機に！

②大手企業とのタイアップ商品

Ex.) 上島珈琲×エヴァンゲリオン

③Vチューバーの活用



「『鬼滅の刃』 ジャンプへの多大な貢献 “子供読者”獲得の謎に光明」ORIKON NEWS

<https://www.orikon.co.jp/news/2162922/hull/>

「アニメの経済効果とは？聖地巡礼の事例まとめ」もぎあすな・カルベック・ラボライズ

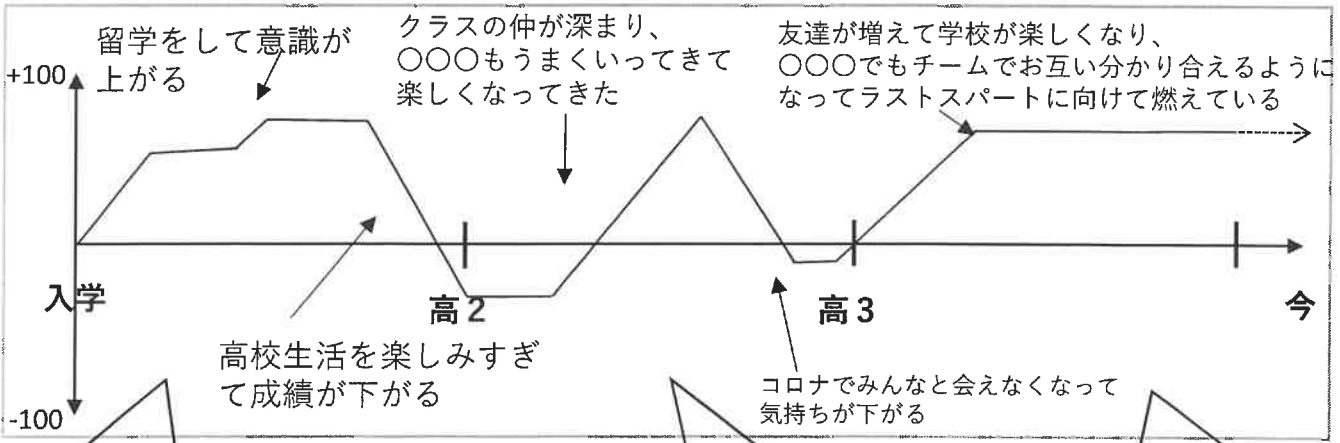
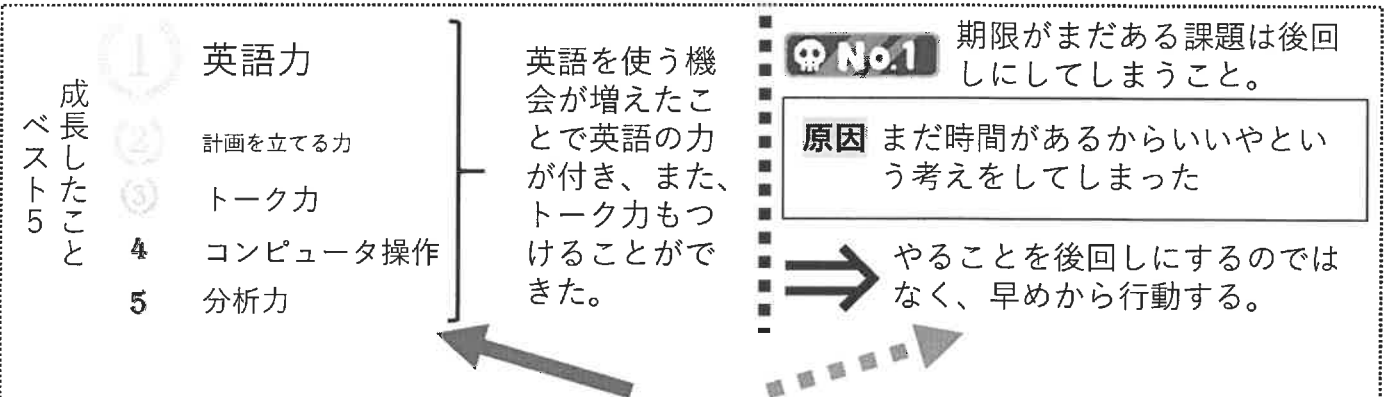
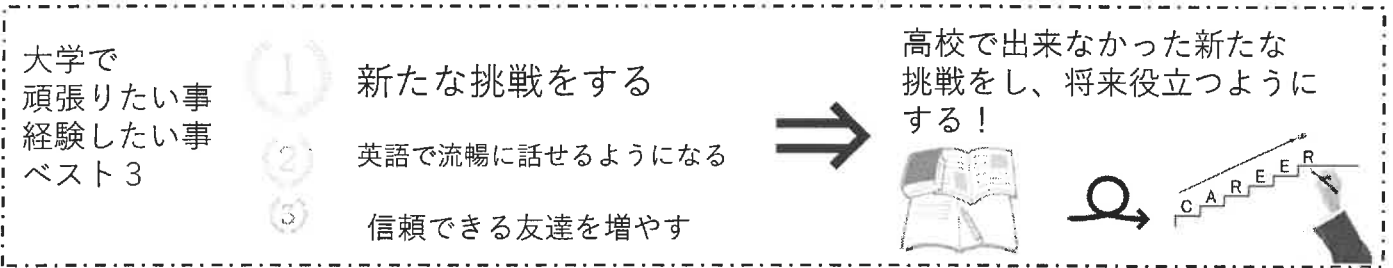
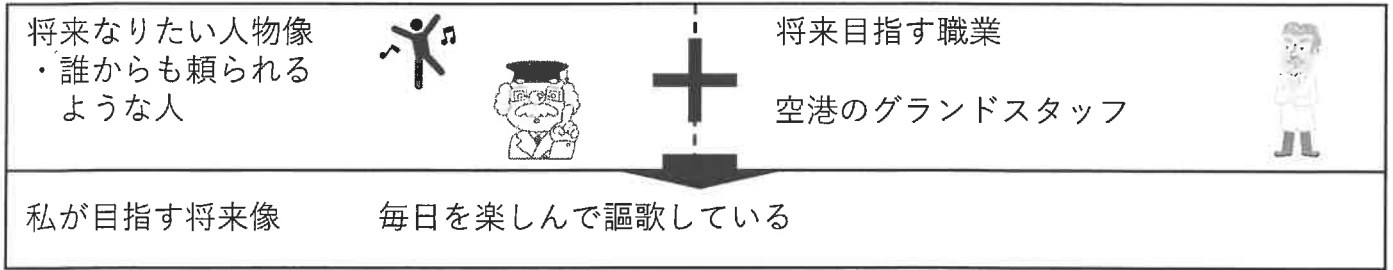
<https://honichi.com/news/2018/03/26/seichijunrei/#section-3>

「アニメキャラを活用したコラボ戦略について～ヒット企画の定理とアニメ活用における効果～」

<https://www.kochi.tech.ac.jp/library/ron/pdf/2013/03/14/a1140402.pdf> 他4項

My Learning Story

3年*組**番****



①高校1年生時
高校生活にも慣れてくる。ニュージーランドへの短期留学の経験から英語を使うことへの好奇心が出てきて、次年度から上級クラスに入ることを選択。

②高校2年生時
中3ぶりに〇〇〇でチームに入り、久々のチームに苦労。日々深まるチームの仲に部活の楽しさを実感する。

③高校3年生時
コロナで始まりが遅くなった中始まった〇組での仲が深まってきて楽しくなってくる。部活では高3という立場が難しかったけど、その分成長が出来た。

将来なりたい人物像

- ・グローバルな人間になりたい
- ・良い人になりたい



将来目指す職業

- ・途上国支援の仕事
- ・スポーツを普及させたい



私が目指す将来像・・・自分が楽しみながら人のためになる仕事をしている

大学で成し遂げたいこと

①

留学

→東南アジア地域に行ってみたい

②

英語マスター

→ネイティブの人と話せるようになりたい

③

外国人の友達を作る

→友達の輪を広げたい

成長したこと
ベスト5

①

忍耐力

②

コミュニケーション能力

③

筋力

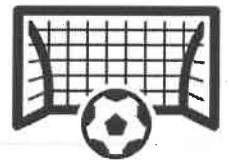
4

プレゼン能力

5

周りを見る力

部活でキャプテンをした事で、自分の弱点や良い所を知ることが出来た。コロナ禍で難しい事が多かったけどその分得られるものが多かったと思う。

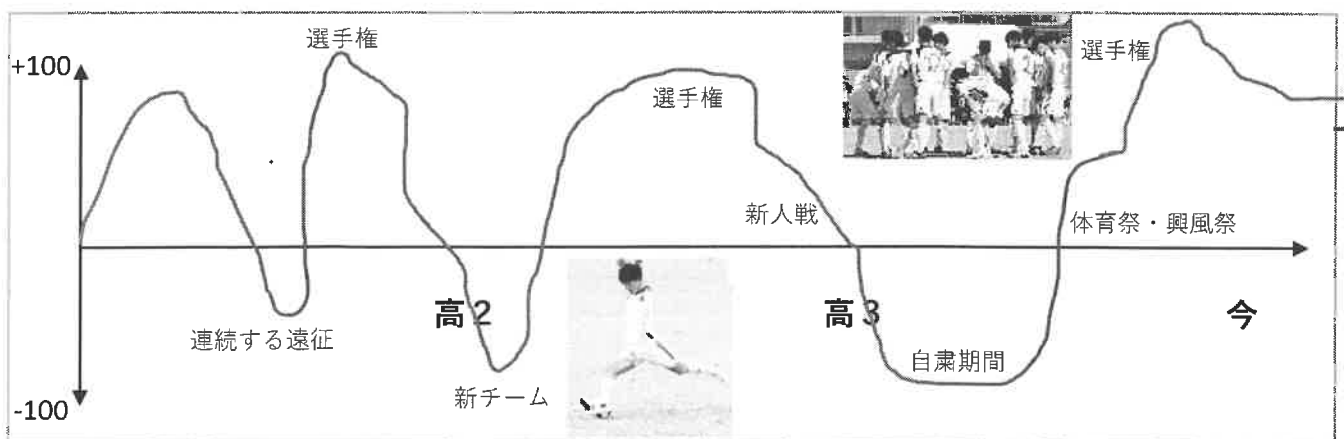


課題



全部1人で解決しようとしていた所

・・・もっと周りの人に頼んだら楽だった事が多かったと思う



①

夏休みが一番しんどくて死ぬかと思った。数学が苦手になった。

②

勉強と部活の両立が一番できた。国関に行くことを決めた

③

コロナで最悪のスタートだったけど、今が楽しいのでOK。最期の試合勝ちたかった。

| 中高 | コース等 | 学年 | 単位数 | 教科 | 科目 | 教科書 | 副教材 | | | |
|------------|--|------|---|----|--------|--|----------|--------------|----|--------|
| 高 | IG コース | 2 | 1 | 総合 | コア探究Ⅱ | なし | 進路探究ワーク2 | | | |
| 到達目標 | <p>【自分ごととなる課題を設定する力の向上】キャリア×研究テーマ探究</p> <p>①長い時間かけて明らかにしたい自分の研究課題を1つ設定することができる。</p> <p>②実社会での経験もふまえ、自分が解決すべき（解消したい）社会課題や研究課題を設定することができる。</p> <p>*ISN2.0プロジェクトとも連携する。</p> | | | | | | | | | |
| 評価の観点 | ①社会課題解決 PBL | | ②研究課題設定 | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会課題に気づくことができる。 自らが解決したい社会課題を考えることができる。 自らが解決したい社会課題と学問とつないで考えることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 研究課題にふさわしいテーマはどのようなものか理解する。 課題研究で取り組む研究テーマの設定ができる。 課題研究完成後の発信について、見通しを持つことができる。 | | | | | | | |
| 評価の方法 | ポートフォリオ評価。授業で課すアウトプット課題、学びの成果をまとめたものを見て総合的に評価する。なお高3で取り組む研究課題を設定し、教員からのOKをもらうことが進級課題となる。 | | | | | | 定期考査実施 | | | |
| | | | | | | | | 中間 | 期末 | 課題点(%) |
| | | | | | | | 1 学期 | × | × | |
| | | | | | | | 2 学期 | × | × | |
| | | | | | | | 3 学期 | × | × | |
| 年間課題点平均(%) | | | 0 | | | | | | | |
| 進級課題 | 高3で取り組む研究課題の設定 | | | | | | | | | |
| 期間 | 時間数 | 学習項目 | | | 学習到達目標 | | 評価方法 | | | |
| 1 学期 | 中間 | 1 | ・オリエンテーション | | | <ul style="list-style-type: none"> コア探究Ⅱで学ぶことを理解する。 自分の興味関心を深く探究し、文章にまとめる。 論文の書き方について理解する。 | | | | |
| | | 2 | ・3000字論文 | | | | | | | |
| | 期末まで | 2 | ・テーマ設定 | | | | | | | |
| | | 2 | ・序論の書き方 | | | | | | | |
| | | 2 | ・仮説を考える | | | | | | | |
| | | 2 | ・論文構成 | | | | | | | |
| 2 学期 | 中間まで | 1 | ・論文読み合わせ | | | <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを発表する。 探究プログラムのスキルをみにつける。 探究プログラムから自分の興味関心を社会とつなげ、社会課題解決と学問のつながりを知る。 長い時間をかけて明らかにしたい、自分の研究課題を1つ設定する。 | | | | |
| | | 1 | ・論文コンクール準備 | | | | | | | |
| | | 2 | ・鹿島建設探究プログラム導入 | | | | | | | |
| | 期末まで | 2 | ・課題設定 | | | | | | | |
| | | 2 | ・整理分析 | | | | | | | |
| | | 2 | ・情報収集 | | | | | | | |
| | | 1 | ・まとめ、表現 | | | | | | | |
| 1 | ・振り返り | | | | | | | | | |
| 3 学期 | 期末まで | 1 | ・チョコプロ導入 | | | <ul style="list-style-type: none"> 自分の興味関心から、プロジェクトを立てて、行動・検証し、発表する。 取り組んだプロジェクトから研究テーマを再設定する。。 論文の再構成をする。 | | | | |
| | | 5 | ・チョコプロ | | | | | | | |
| | | 1 | ・プレゼンテーション | | | | | | | |
| | | | ・3000字論文の再構成 | | | | | | | |
| 備考 | コア1の内容をベースとした授業である。コア3の課題研究に進む。 希望者対象に学校外でのプログラムを設定する予定。 | | | | | | | | | |

2020年度 高校2年 コア探究年間スケジュール

| 学期 | 日時 | 内容 | 場所 | 担当 | 回数 | |
|-----------------|-----------------|---------------------|---------------------------------------|------|-------|----|
| 1学期 | 4月7日(火) 5限 コア | 自宅学習 | | | × | |
| | 4月14日(火) 5限 コア | 自宅学習 | | | × | |
| | 4月21日(火) 5限 コア | 自宅学習 | | | × | |
| | 4月28日(火) 5限 コア | 自宅学習 | | | × | |
| | 5月5日(火) 5限 コア | 自宅学習 | | | × | |
| | 5月12日(火) 5限 コア | 3000字論文テーマ決め① | ワークシート | ZOOM | 田内 | 1 |
| | 5月19日(火) 5限 コア | | | | | × |
| | 5月26日(火) 5限 コア | 3000字論文テーマ決め② | 言葉の定義づけ | ZOOM | 田内 | 2 |
| | 6月2日(火) 5限 コア | 序論をまとめる | 500~1000字を書く | ZOOM | 田内+担任 | 3 |
| | 6月9日(火) 5限 コア | | | | | × |
| | 6月16日(火) 5限 コア | 論文テーマ決め | | 図書室 | 学年 | 4 |
| | 6月23日(火) 5限 コア | 仮説を考える① | 個人で考える | ZOOM | 田内+担任 | 5 |
| | 6月30日(火) 5限 コア | 仮説を考える② | グループでツッコミシートを使い質問 | ZOOM | 田内+担任 | 6 |
| | 7月1日(水) 6限 LHR | 仮説を考える③ | 各自論文作業 | HR教室 | | 7 |
| | 7月7日(火) 5限 コア | 論文の構成とインタビューについて | | ZOOM | 田内+担任 | 8 |
| | 7月14日(火) 5限 コア | 論文の読み合わせ | 3~4人で途中までの論文を読み合わせとチェック 各自プリントアウト赤字入れ | ZOOM | 田内+担任 | 9 |
| | 7月21日(火) 5限 コア | 論証について・論文骨組み | | ZOOM | 田内+担任 | 10 |
| | 7月28日(火) 5限 コア | 論文についての質問・今後のスケジュール | | ZOOM | 田内+担任 | 11 |
| 2学期 | 8月25日(火) 5限 コア | 3000字体裁整える | | ZOOM | 田内+担任 | 12 |
| | 9月1日(火) 5限 コア | 論文読み合わせ&チェックシート | | ZOOM | 田内+担任 | 13 |
| | 9月8日(火) 5限 コア | コンクール提出準備体裁 | | ZOOM | 田内+担任 | 14 |
| | 9月15日(火) 5限 コア | 鹿島について | 探究について・スケジュール | ZOOM | 西田 | 15 |
| | 9月22日(火) 5限 コア | 秋分の日 | × | × | × | × |
| | 9月29日(火) 5限 コア | 鹿島導入 | 鹿島導入① | ZOOM | 西田 | 16 |
| | 10月6日(火) 5限 コア | 鹿島① | 鹿島導入② | HR教室 | 西田 | 17 |
| | 10月13日(火) 5限 コア | 2学期中間考査1日目 | × | × | × | × |
| | 10月20日(火) 5限 コア | 鹿島② | 各モジュール①東京駅 ②女川 ③羽田 | HR教室 | 学年 | 18 |
| | 10月27日(火) 5限 コア | 鹿島③ WWL公開授業 | 各モジュール①東京駅 ②女川 ③羽田 | HR教室 | 学年 | 19 |
| | 11月3日(火) 5限 コア | 文化の日 | × | × | × | × |
| | 11月10日(火) 5限 コア | 鹿島④ | 各モジュール①東京駅 ②女川 ③羽田 | HR教室 | 学年 | 20 |
| | 11月17日(火) 5限 コア | 鹿島⑤ | 各モジュール①東京駅 ②女川 ③羽田 | HR教室 | 学年 | 21 |
| | 11月24日(火) 5限 コア | 鹿島⑥ | 各モジュール①東京駅 ②女川 ③羽田 | HR教室 | 学年 | 22 |
| | 12月1日(火) 5限 コア | 2学期期末考査2日目 | × | × | × | × |
| 12月8日(火) 5限 コア | 鹿島⑦ | 各モジュール①東京駅 ②女川 ③羽田 | HR教室 | 学年 | 23 | |
| 12月15日(火) 5限 コア | 鹿島⑧ まとめ | 振り返り | HR教室 | 西田 | 24 | |
| 3学期 | 1月12日(火) 5限 コア | チョコプロ導入 | My willリスト作成 | ZOOM | 西田 | 25 |
| | 1月19日(火) 5限 コア | チョコプロ企画書1回目 | 企画書の作成とグループ情報共有 | ZOOM | 西田+担任 | 26 |
| | 1月26日(火) 5限 コア | チョコプロ1回目振り返り | classiで振り返り | HR教室 | 担任 | 27 |
| | 2月2日(火) 5限 コア | チョコプロ企画書2回目 | 企画書の作成とグループ情報共有 | ZOOM | 西田+担任 | 28 |
| | 2月9日(火) 5限 コア | チョコプロ2回目振り返り | classiで振り返りとグループ代表決め | HR教室 | 担任 | 29 |
| | 2月16日(火) 5限 コア | チョコプロクラス代表決め | グループ代表によるクラス内発表 | HR教室 | 担任 | 30 |
| | 2月23日(火) 5限 コア | 天皇誕生日 | | | | × |

備考①7/1LHRについては、論文作業の時間として使用

備考②2/24LHRについては、コア探究年間振り返りの時間として使用

高校2年生 口頭試問について

2021.1. 高2担任会
2021.1. 高校主任会議
2021.1. 校務運営委員会
起案：高校2年学年

1、目的 ①1年間の振り返り ②今後の目標設定

生徒が一定の緊張感のある場で自らをふりかえり、目標や決意を述べる。自らの決意を他者の前で語ることで、決意をより強固なものにする。生徒をグループにすることで、同級生からの刺激を受けることもねらいとしたい。

2、位置づけ

進級課題。高3進級のための面接・プレゼンテーション試験。コア探究授業の最後のまとめ。

3、試問概要

日時：3月9日（火）・3月10日（水）いずれも8時50分～12時の間

（ただし不合格者は3月11日（木）SHR終了後あたりに再試問あり）

形式：生徒は4人一組（クラスはまぜる）、1組25分、教員は1名または2名。

担当教員：高2主任・担任・補助担任、キャリア教育部教員。

当日の流れ：①今年の振り返り（成長、残った課題）と来年度の決意を1人2分30秒以上3分30秒以内で述べる

②自分マニフェストの中身などについて教員から質問する（共通質問でも順に質問を変えてもよい）

4、合格ライン（最低目標）

- ・自分マニフェストを仕上げ、当日決められた時間内に決意を述べるができる
- ・教員の問いかけに自分の言葉で答えることができる。
- ・他の生徒の答えを聞く、服装がきちりしているなど、最低限のルール・マナーを守れている。

<不合格となるのは以下の場合> 自分マニフェストを忘れた場合は口頭試問を受けられない（再諮問）

- ①ふりかえり・決意が2分30秒以内または3分30秒以上 ②服装が整っていないなど外見上問題がある（頭髪、ボタン）
③質問にきちり答えられない、座る姿勢が悪いなど面接内容に問題がある ④他の人の発表や発言を聞く姿勢が悪い

★合格・不合格はグループ全体ではなく生徒一人ずつに対して評価する。

5、事前準備など

- ・「自分マニフェスト」提出（2月19日（金）classi上で提出）（生徒にはコア探究の授業で説明）
→口頭試問までに担当教員は軽く目を通しておく。
- ・口頭試問のグループ分けはテスト後教室に掲示する（担当教員は生徒には当日まで秘密）。

6、その他

- ・高校3年生進級のためのハードルとして実施する。
- ・なるべく生徒のことをあまり知らない先生が担当できるように工夫する。
- ・過去の総括を見ると、事前の意義づけや質問の工夫、事後のフォローアップを行った結果、80%の生徒が「前向きな気持ちになった」、83%の生徒が「目標やなりたい自分の姿が明確になった」と答えている。今回も生徒が「一定のハードルをクリアした」という感覚を持つだけでなく、「前向きな気持ちになる」「目標や自分のなりたい姿が明確になる」ところを目指す。

自分マニフェスト

年度 年 組 () 番 ()

意識は書く量にあらわれます。しっかり書き、マニフェストがダメという理由で再試問になることは避けましょう。

これは下書き用です。正式には classi 上で作成・提出すること(締め切りは 2月19日(金))。

<ワーク>

・私が人生で成し遂げたいこと、なりたい姿(現時点で思っていること)

・上のようになるために必要な経験、知識、スキル、人との関わり方など

★上のことを達成するために次の計画を実行します！！

①18歳で高校を卒業するときには、次のことを実行し、達成しています。

②22歳(24歳)で大学を卒業するときには次のことを実行し、達成しています。

③30歳のときには次のことを実行し、達成しています。

この計画をスタートさせるため、私は今、いろいろなイベントなどに参加するを行います。

私はこの計画を実行し、理想の自分になることを宣言します。

★マニフェストを保護者(寮生は寮の方でもよい)に見せてコメントをもらうこと。以下にもらったコメントを書く。

～自分マニフェスト・詳細～

(1) 進路に関わる今の自分

①現時点での希望進路（大学進学の場合学部も書く）とその理由

| (学部) | (理由) |
|------|------|
| | |

②将来希望する仕事について（職業、こんな仕事をしたい、このような働き方をしたいなど）

| |
|--|
| |
|--|

(2) 今までの自分

①今まで自分はどんなことを目標にし、どんな成長をしてきたか

| |
|--|
| |
|--|

②今までの偶然の出会いで今に大きく影響しているものは？（人、スポーツ、趣味、本、テレビ番組など）

| |
|--|
| |
|--|

③（上の積み重ねの結果）自分の長所、特技、キャリアアンカー、好きな役割、残した成果はどんなものがありますか。

| |
|--|
| |
|--|

④今年の自分はどんな成長をしたか、また今年新しい環境で生活する中で気がついた自分の長所は。
また明らかになった今後の課題は（ボランティア体験など学外のことも含む）。

| |
|--|
| |
|--|

(3) これからの自分

①良い偶然に出会うための行動、そのための態度や気持ちの持ち方。

| |
|--|
| |
|--|

<今年1年間のコア探究授業（コアをふりかえる）>

【全体】

① なぜコア探究を学ぶのか自分の意見を書きなさい。

② 3000字論文の中で、学んだこと、気づいたこと、実践できていることを書きなさい。

③ 鹿島建設探究プログラムの中で、学んだこと、気づいたこと、実践できていることについて書きなさい。

④ チョコプロ企画に取り組む中で、学んだこと、気づいたこと、実践できていることを書きなさい。

⑤ コア探究の学びは以下のそれぞれとどのようなつながりがありますか？

1) 教科学習

2) クラブ・行事・自主活動

3) 自分の進路・将来

2020年度 高2 コア

課題研究

テーマの決め方

2020年度からコア探求で
要求される課題研究は
8000字（以上）

なぜ課題研究（論文）を書くのか

- ・社会に出たときには、自分の考えをはっきり主張するために資料を使って、自分の考えを整理し、文章にまとめる力が要求される。
- ・この力はもちろん大学でも有効。

→そのためにアカデミックライティングをやっている！

なぜ課題研究（論文）を書くといいのか

- ・課題研究を書く目的は、究極的には世の中を変えること。基本として読み手の考えを変えること。
- ・テストで高得点をとっても世の中は変わらない。でも、君たちの論文がきっかけで世の中が変わるかもしれない。
- ・そのテーマについて「本気で実現したいと思っているか」という質問に、ためらいなく「はい」と答えられるかどうかがカギとなる。

テーマを決めないと始まらない！

- ・問題意識の顕在化
- ・テーマ決め

- ・資料集め
- ・資料整理

- ・執筆
- ・推敲・点検

インタビューやアンケートも行おう！

提出は3年の夏明けあと1年しかない！

テーマは自分たち（の生活）に直結しているものがオススメ！

＝解決できる範囲の問題を考える

→解決できたら自分たちの生活が変わる。

→モチベーションが上がる。

→いい論文が書ける！

論文の種類

論文には大きく分けて「報告型」と「論証型」がある。

「報告型」→資料を読み・調べて報告する

「論証型」→問題を自分で立て、それを論じる
何らかの提案をする。

課題研究は「論証型」を目指すこと

適切な問い（テーマ）とは？

- ①興味を持っている内容である
⇒その分野の資料を何時間も読み飽きないか
- ②問いの形になっている
⇒特に「Yes」「No」で答えられる形にすると論証すべきことが明確になる
(例)「日本のサンゴについて」
⇒「日本のサンゴは絶滅してしまうのか」

【学習例】 読者のための「問い」を問う（2011）

適切な問い（テーマ）とは？[第2弾]

- ③大きすぎない
(例)『携帯電話は世界を変えるか』
⇒『携帯電話は若者の恋愛を変えたか』
- ④専門的すぎない
⇒自分の知識レベルで対応できる範囲に
(例)『〇〇病は根治できるか』…専門的すぎる

大きいときには
細分化する。

【学習例】 読者のための「問い」を問う（2011）

ダメな問いの例（6つ）

- ①大きすぎる
(例)『愛とは何か』、『環境問題は解決できるか』
- ②高度に専門的な知識を必要とする
(例)『新量子暗号は普及可能か』
- ③予想・予言など
(例)『サッカー日本代表はワールドカップでベスト4に入れるか』

これは、やり方次第で問いとして成立する。考えてみよう

【学習例】 読者のための「問い」を問う（2011）

ダメな問いの例（6つ）

- ④how to もの
(例)『どうすればよい小説が書けるか』
- ⑤調べたことを羅列するだけのもの
(例)『世界にはどのようなダンスがあるか』
- ⑥調べればすぐにわかるもの
(例)『太陽はなぜ明るいのか』、『〇〇の発明はいつか』

やり方次第で、問いとして成立する。

【学習例】 読者のための「問い」を問う（2011）

オリジナル名詞を作ろう

- ・自分の研究にオリジナルの名詞があると、読む人や聞く人にイメージが伝わりやすい。
- ・過去の論文にも
「空子屋」…空いている家を塾にする
「夕張メロン科」…夕張メロンの研究をする農業科などのオリジナル名詞があった。見ただけで内容がわかるような言葉を考えよう。オリジナル名詞を他の人が口にしてくれるようになったら、論文としては成功。

<実際に問いをたててみよう>

①マインドマップを書き、
キーワードを選ぼう



②キーワードに質問をぶつけ、
問いを探そう

マインドマップの記入例



(「学びの技」後藤芳文ほか、2014 玉川大学出版部 p20)

※キーワード
「地球温暖化」

「5W2H」に
Whom (誰に対して?)
How much(予算は?)を
加えた「6W2H」を
自分のテーマに当てはめ
てみよう

| 6W2H (1) 問題 | キーワードから問いを作る原則(2014) |
|----------------|---------------------------------------|
| 1. 何? (What) | 何? (What) 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何か?) |
| 2. 誰? (Who) | 誰? (Who) 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 3. どこ? (Where) | どこ? (Where) 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 4. いつ? (When) | いつ? (When) 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 5. どうして? (Why) | どうして? (Why) 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 6. どう? (How) | どう? (How) 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |

| 6W2H (2) 問い | キーワードに当てはめよう(2014) |
|----------------|---------------------------|
| 1. 何? (What) | 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 2. 誰? (Who) | 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 3. どこ? (Where) | 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 4. いつ? (When) | 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 5. どうして? (Why) | 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |
| 6. どう? (How) | 地球温暖化の原因は何? (地球温暖化の原因は何?) |

(「学びの技」後藤芳文ほか、2014 玉川大学出版部 p20)

ジャンルが決まっているなら、「マンドラート」も有効

| 体づくり | コントロール | キレ |
|------|--------|---------|
| メンタル | ドリフト | スピード |
| | 8球技 | 160km/h |



自分のマスに
当てていく

SMのマスを中心に自分の興味のあるものを書く

大谷翔平が花巻東高校1年時に立てた目標達成表

| 項目 | 5月 | 7月 | 9月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 打率 | 0.250 | 0.280 | 0.300 | 0.320 | 0.350 | 0.280 |
| 2. 本塁打 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 10 |
| 3. 盗塁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 10 |
| 4. 打点 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 90 |
| 5. 三振 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 75 |
| 6. 四球 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 20 |
| 7. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 8. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 9. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 10. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 11. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 12. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 13. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 14. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 15. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 16. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 17. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 18. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 19. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |
| 20. 犠打 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 15 |

今回の宿題

次回までに、自分が興味のある分野で
論文のテーマになりそうなものを見つけ、
タイトルを書いてくる。
(実際に書かないだろうというものでもよい)

See you 5/26!

◎テーマは確定していますか？ 以下の条件にあてはまっていないか、再度チェックしましょう。

- ①もうすでに解決している問題を書こうとしていないか。→これは絶対ダメ！
- ②学術論文になるような内容を書こうとしていないか。→ダメではないが、1年半ではおそらく無理。
- ③誰でも書けるような論文を書こうとしていないか。→もったいない！ できるだけやめておこう。

◎「今」「ここ」「自分（高校生）」のうち、1つはテーマにいれると、オリジナリティが増す。

◎仮説を書こう

仮説は大きく分けて2つのパターンがある。

- ①それが解決できたら、大きなメリットがある。
 - ②それが解決できなければ、大きなデメリットがある。
- 現状から、どんな問題点があるか、考えておこう。

| | |
|------------|---------------------------|
| テーマ | YES/NO で答えられるものになっているか。 |
| 現状 | 問題点を書こう |
| メリット/デメリット | どのようなメリット/デメリットがあるか書いておこう |

現時点での仮説

| |
|--|
| <p>書き方の例：○○すれば△△になる。よって○○すべきである。</p> <p>→夕張メロン科を設立すれば、夕張市に若者が増え、夕張市が活性化する。よって夕張メロン科を設立すべきである。=現時点では理想でかまわないので、最高の結果を予想して書いておく。</p> |
|--|

論文の構成／論証

1. 論証型論文の型

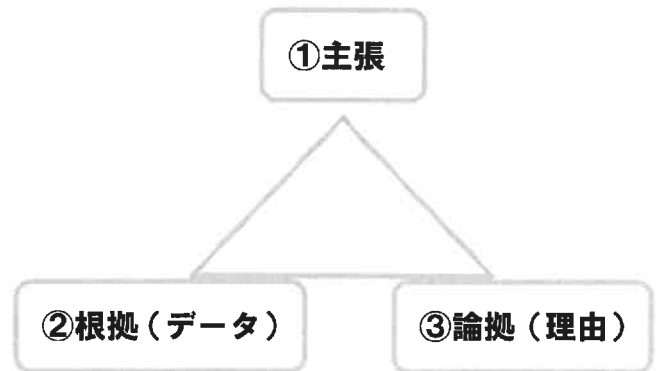
- ①最初にどんな問題があるかを提起する（序論）
- ②現状を述べる（本論Ⅰ）
- ③現状のデメリットをあげる（本論Ⅱ）
→8000字ではメリットもあげるとよい。
- ④新しい手段・方法を考え、メリットを伝える。（本論Ⅲ）
＝主張 3000字ではここが大事！
- ⑤自分の主張をまとめ直す（結論）

2. 本体の完成のポイント

- ①主張（答え）が正しいかどうかよりも、論証の説得力があるかどうか重要。データ（根拠）に基づいた判断・理由（論拠）が主張を支えるために十分なものかどうかをチェックすること。
- ②主張は1つ。論証は複数必要。論証が重ねられることで主張に説得力が備わる。
「主張は3つの論証で行い、3つ目に大事なことを挙げること」

3. 論証とは何か

右図は三角ロジックと言われるものである。
①の主張に「明日は雨が降るだろう」といれたとしたら、②「データ」、③「理由」にはどのようなものが入るだろうか。
②
③



◎論証とは…客観的な（ ）と、妥当な（ ）を挙げて、主張を述べること

【論証の練習】

〈例題1〉根拠が同じでも主張が違うことがある。

ある島の住民は靴を履く習慣がなく、全員が裸足で暮らしている。

あなたは靴のセールスマンである。本社にどのように報告すべきか？（次ページも参照）

◎以下の主張に対する「論拠」を考えてみよう。

根拠①：この島の住民は全員裸足で暮らしている

主張①：この島の住民に靴を売り込むのは無駄である。

論拠①：（ ）

根拠②：この島の住民は全員裸足で暮らしている。

主張②：この島の住民に靴を売り込むべきである。

論拠②：（ ）

〈例題2〉論拠がむちゃくちゃだと主張の（ ）がなくなる。

| | |
|--|---|
| <p>【正しい論拠】 主張①：雨が降るだろう 根拠①：気圧計が低くなっている 論拠①：気圧が低くなると雨がふる。</p> | <p>【正しくない論拠】 主張②：雨が降るだろう 根拠②：気圧計が低くなっている 論拠③：気圧計の神様は雨を降らせる。</p> |
|--|---|

〈例題3〉根拠や論拠が正しくても、主張が間違っていることがある。

主張：雨が降ったに違いない
 根拠：地面がぬれている
 論拠：雨が降ると地面は濡れるから。

この論拠は正しい？

〈例題4〉論拠（理由）を考えよう

主張：彼は僕よりサッカーが上手だ。
 根拠：彼は僕より5年前にサッカーを始めた。
 論拠：（ ）

〈例題5〉反証（反論）しよう

主張：花子は日本人だ。
 根拠：花子は京都で生まれた。
 論拠：京都で生まれた人は日本人になるから。
 ※この主張は基本的には間違っていない。間違っているとすれば？
 反証：（ ）

〈例題6〉反駁（反証に対する反論）しよう

主張：日本は選挙の棄権に罰則を設けるべきである。
 根拠：オーストラリアでは59%の投票率が92%に上昇した。
 論拠：罰則があれば、投票率があがる。
 反証：罰則を設けなくても、PRなどをすればよい。
 反駁：（ ）

○自分の主張＝仮説の反駁までを考えよう

| | |
|----|--|
| 仮説 | |
| 根拠 | |
| 論拠 | |
| 反証 | |
| 反駁 | |

〈課題研究を書く目的〉

- ・2020年度からコア探求で要求される課題研究は()字以上。
- ・社会にでたときには自分考えをはっきりさせるために()を使って、自分の考えを整理し、文章にまとめる力が要求される。
- ・論文を書く目的は、究極的には世の中を変えること。基本として()を変えること。
- ・テストで高得点をとっても()は変わらない。しかし、君たちの論文がきっかけで変わるかもしれない。そんな論文を書いてほしい。
- ・「()」という質問にためらいなく「はい」と答えられる問題について書こう!
- ・テーマは()に直結しているものがオススメ!

〈論文の種類〉

「()型」→資料を読み・調べて報告する

「()型」→問題を自分で立て、それを論じる ※課題研究は「()型」を目指すこと

〈適切な問い(テーマ)とは〉

- ①()を持っている内容である→その分野の資料を何時間も読み飽きないか。
- ②()になっている
→特に「Yes」「No」で答えられる問いにすると論証すべきことが明確になる。
- ③大きすぎない…大きい時には()する。
(例)『戦争はなくせるか』⇒『〇〇内戦は終わらせられるか』
- ④()すぎない→自分の知識レベルで対応できる範囲にする。

〈ダメな問いの例[6つ]〉

- ①()すぎる (例)『愛とは何か』、『環境問題は解決できるか』
- ②高度に()的な知識を必要とする (例)『新量子暗号は普及可能か』
- ③予想・予言など (例)『サッカー日本代表はワールドカップでベスト4に入れるか』
→少し形を変えればいける場合もある。
- ④()もの (例)『どうすればよい小説が書けるか』
- ⑤調べたことを()するだけのもの (例)『世界にはどのようなダンスがあるか』
- ⑥調べればすぐにわかるもの (例)『太陽はなぜ明るいのか』、『〇〇の発明はいつか』
→ネットで調べてすぐに答えがわかるものはダメ。

- ・マインドマップやマンダラートも活用しよう。
- ・論文のタイトルには「() 名詞」があるとよい。

今回の宿題・下に課題研究のテーマになりそうな「タイトル」を書く!

テーマ(問い)の決め方

2年組 番 氏名

〈連絡〉

- ①コア探究で要求される課題研究論文は（ ）字以上！
②2020年度は、3000字論文を（ ）に提出！

〈テーマ(問い)の言葉を定義しよう〉

- ・次の問いはどこが定義されていない？
- (例1)忙しい人は、どのように疲労を解消しているか。

(例2)日本人は大人しい民族なのか。

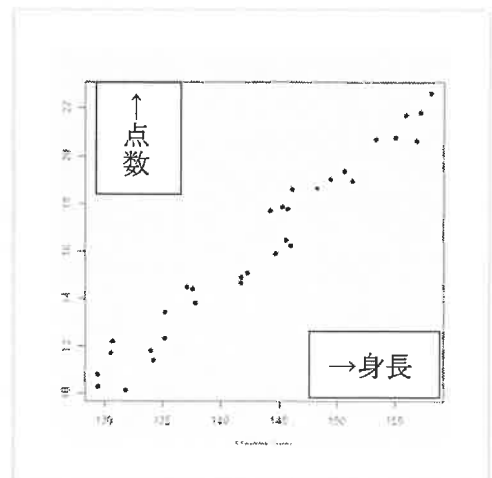
○自分が書いてきたテーマ

〈適切な研究の問い(テーマ)とは〉

- ①（ ）されているか→視点や対象が特定され内容や言葉が定義されていること。
②（ ）の問いであるか→二つ以上の疑問がタイトルに含まれていないこと。
③（ ）可能であるか→客観的なデータがないものは研究対象になりにくい。
④（ ）(ぎじそうかん)を問うていないか→他の要素が影響していないか。
たまたま挙げられる二つの要因を取り上げて相関しているとみなしている関係＝擬似相関。

【擬似相関の例】

「右の図は小学生の身長と算数の点数を表にしたものである。
ここから、身長が高い者の方が、点数がよいことがわかった」
→この主張は正しい？



〈練習問題〉

1.以下のテーマについて、研究するのにふさわしい問いになっているものには○、そうでないものに×をつけなさい。また、×の場合は、その理由も答えてください。

- ①なぜコンビニのおにぎりは留学生にも人気があるのか。()
※×の理由…
- ②独り暮らしの学生はご飯党かパン党か。()
※×の理由…
- ③食事をしながらだと話の内容の伝わり方は変わるか。()
※×の理由…
- ④衣服にかかる費用は恋人、夫、妻の有無で変化するか。()
※×の理由…
- ⑤人は何枚シャツを所有しているものなのか。()
※×の理由…

〈論文のタイトルについて〉

- ①タイトルの役割は読者の()を惹きつけること。
- ②タイトルには前後の文がないので()ことが絶対条件になる。
- ③何をやろうとしている研究論文なのかを伝えるために何について取り組むのか、()を書く必要がある。
- ④取り組む問題を()にして示し、着眼点をサブタイトルにすると、問題と着眼点が一目瞭然となってわかりやすくなる。

〈以上の内容を踏まえて、自分のタイトルを書き直してみよう〉

【次回までにやること】

インターネット以外の資料を3つみつけておく！

| タイトル | 著者名/記事の日時 | 出版社/新聞名 |
|------|-----------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

課題研究 友達のテーマにツッコミシート

2年 組 番 ()

○現時点の仮説を書こう

| |
|--|
| |
|--|

・4(3)人グループをつくる→それぞれのテーマを下に書く

| |
|--|
| |
| |
| |

・下のツッコミを基本に他の人のテーマに質問する。

◎ツッコミの基本はこれだ！

- ・経済格差をなくします！ → それ結局なにをするの？(What)
- ・外国人労働者を増やしましょう！ → それなんですか？(Why)
- ・宇治市を観光都市に！ → それ誰がするの？(Who)
- ・広報活動が必要です！ → それ誰にするの？(Whom)
- ・グルメイベントで町おこし！ → それいつするの？(When)
- ・京都に経済特区を作ります！ → それどこですか？(Where)
- ・児童虐待をゼロに！ → それどうやってするの？(How)
- ・立宇治に最先端IT技術を導入！ → それなんぼかかるの？(How much)
- ・クールジャパンを世界に発信！ → それ誰得なん？

——言われて気付いたこと——



◎ 自
分
の
提
案
(
仮
説)
は
「
6

W2H+誰得？」に答えられるか？

| | |
|--------------|--|
| 仮説は？ | |
| 仮説を実行するための具体 | |

| | |
|-----------------|--|
| 的な提案は？ | |
| なぜそれを するの？ | |
| 誰が実行 するの？ | |
| 誰に対して 実行するの？ | |
| いつ(までに) するの？ | |
| どこで するの？ | |
| どうやって するの？ | |
| なんぼ かかるの？ | |
| 誰が得を するの？ | |

◎すべてを答えられなくてもいいので、埋められるところを埋めていこう。そして、埋めたところが本当にその考えであるのか、実現可能なかを調べていこう。

○改めて仮説を書いてみよう

[悩んでいること、先生に聞いてみたいことがあれば書いておこう]

高校2年3学期コア探究

高校2年学年団



マイプロジェクトはじめる 第一歩としてのオススメ

3学期の取り組み

コア探究：

- ①チョコプロの実施（全6回）
- ②学術祭（2/19・20）に向けて、論文の加筆修正（各自）

LHR：

- ①志望理由書の作成
- ②口頭試問に向けて

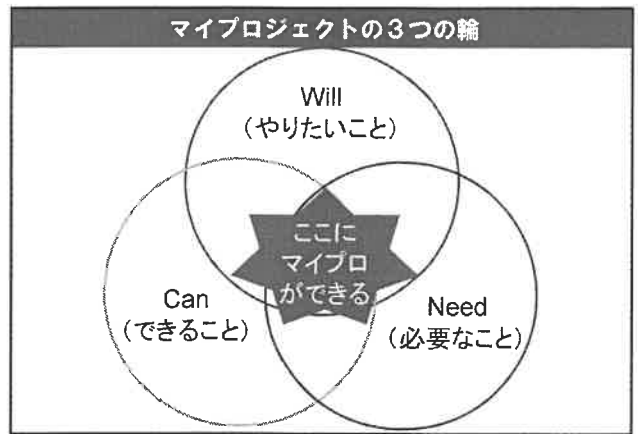
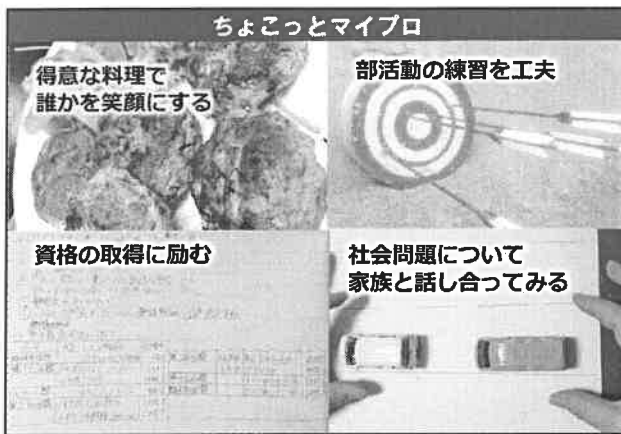


ちょこっとマイプロジェクト （通称：チョコプロ）

1週間で完結できるプロジェクト
好きなテーマを決めて
誰かのためにアクションしてみる

チョコプロとは？





小さな実践を重ねる

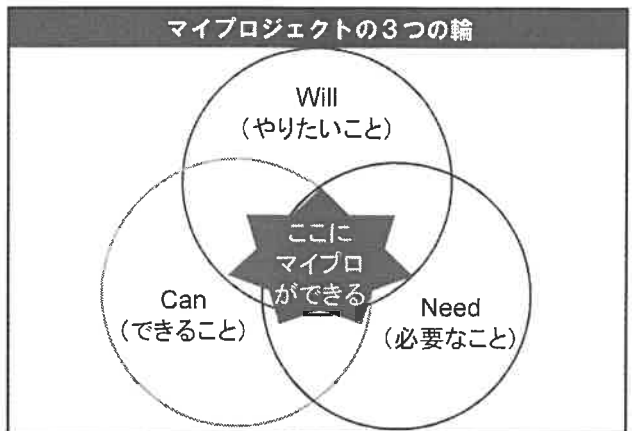
ということで今日は・・・

自分のやりたいことを見つけよう！
MY WILL50を書いてみよう！
書けない人も決してダメではありません。
常に考えるということが大切！

今年もマイプロジェクトが走り出した

My **自分で自分のテーマを考える**

| | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 家族と旅行に行く | 11. 家族と旅行に行く | 21. 家族と旅行に行く | 31. 家族と旅行に行く |
| 2. 家族と旅行に行く | 12. 家族と旅行に行く | 22. 家族と旅行に行く | 32. 家族と旅行に行く |
| 3. 家族と旅行に行く | 13. 家族と旅行に行く | 23. 家族と旅行に行く | 33. 家族と旅行に行く |
| 4. 家族と旅行に行く | 14. 家族と旅行に行く | 24. 家族と旅行に行く | 34. 家族と旅行に行く |
| 5. 家族と旅行に行く | 15. 家族と旅行に行く | 25. 家族と旅行に行く | 35. 家族と旅行に行く |
| 6. 家族と旅行に行く | 16. 家族と旅行に行く | 26. 家族と旅行に行く | 36. 家族と旅行に行く |
| 7. 家族と旅行に行く | 17. 家族と旅行に行く | 27. 家族と旅行に行く | 37. 家族と旅行に行く |
| 8. 家族と旅行に行く | 18. 家族と旅行に行く | 28. 家族と旅行に行く | 38. 家族と旅行に行く |
| 9. 家族と旅行に行く | 19. 家族と旅行に行く | 29. 家族と旅行に行く | 39. 家族と旅行に行く |
| 10. 家族と旅行に行く | 20. 家族と旅行に行く | 30. 家族と旅行に行く | 40. 家族と旅行に行く |



MY WILL リスト50 ()組()番 名前()

自分がやってみたくと思うことをどんどん書きたそう！「〇〇を〇〇する」という簡単な文章で書こう！
 良い例：「楽器が弾ける人と演奏会をする」、「身長を〇センチ伸ばす」
 悪い例：「芸能人に会う」「飲をする」、具体性がないもの、同じことを書いている

| | | | |
|----|----|----|----|
| 1 | 13 | 26 | 39 |
| 2 | 14 | 27 | 40 |
| 3 | 15 | 28 | 41 |
| 4 | 16 | 29 | 42 |
| 5 | 17 | 30 | 43 |
| 6 | 18 | 31 | 44 |
| 7 | 19 | 32 | 45 |
| 8 | 20 | 33 | 46 |
| 9 | 21 | 34 | 47 |
| 10 | 22 | 35 | 48 |
| 11 | 23 | 36 | 49 |
| 12 | 24 | 37 | 50 |
| | 25 | 38 | |

高校2年生 チョコプロ企画シート 2回目 ()組()番 名前()

私は〇〇を(に)〇〇する
私は

| | | |
|---------|--------------------|---|
| 企画概要・目的 | どのような方法・アクションをするのか | 1週間プラン ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () |
|---------|--------------------|---|

高校2年生 チョコプロ企画シート ()組()番 名前()

私は〇〇を(に)〇〇する
私は

チョコプロキーワード

| | |
|----------|-------------------------|
| ①何をするのか | ②誰が喜ぶのか(自分・家族・地域・友達) |
| ③なぜ、やるのか | ④どんな力がつくのか(想像力・観察力・実行力) |



高校2年生 チョコプロ企画シート 1回目 ()組()番 名前()

私は〇〇を(に)〇〇する
私は

| | | |
|---------|--------------------|--|
| 企画概要・目的 | どのような方法・アクションをするのか | 1週間プラン ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () ・ / () |
|---------|--------------------|--|

高校2年3学期コア探究

高校2年学年団



視点を意識しよう！

自分⇒他者へ！

他者が喜び、自分も楽しめる！
他者の視点を入れよう！

テーマみると・・・

自分視点

- ・映画を英語音声の字幕なしでみる
- ・部屋の模様替えと掃除を1週間して、部屋を綺麗に保つ
- ・左手で晩御飯、昼ごはんをエジソンの左利き用のお箸を使って食べていた
- ・トランペットをもう一度始める
- ・1週間マイナス発言なし生活

他者視点

- ・1週間かけて苦手な虫を克服し、周りに困っている人がいる時に、自分が自ら触って外まで誘導することに挑戦した
- ・毎日放課後に、担当ではなくても、自分から進んで教室の掃除を行いました
- ・1日100回、ありがとうを言う！
- ・1週間姉の服装を考える

1週間やってみてpart1・・・

- ・1週間虫に対する情報を少しずつ集めたり、自分の虫への偏見をなくすために色々調べた。最初はあまり写真なども見れなかったが、最近少しずつ苦手意識を克服できた気がする
- ・やりたいことをたくさん書いて1つ1つ実行して行けたらいいなと思ったので、ひとつ実行したことで達成感を感じたしこのように紙に書くことでより実行することが明確にわかりました
- ・一週間だとやはりとくに変化を感じなかった。もっと何か月と続けるべきだと感じた
- ・継続するの気持ちいい。
- ・自分の行動力や計画力の無さ
- ・英語を学ぶ上で、自分が興味ある映画で置き換えて行うことでより楽しみながら理解することができた。勉強だけでも大事だと思うが、自分が好きなことと合わせながら学ぶことも良い方法だと感じた。

1週間やってみてpart2・・・

- ・自分からの発信はなかなか大変で難しいけれど、達成感がすごいと感じた
- ・自分で立てた目標を達成するために1週間意識することで、いつも汚かった部屋が綺麗になり、親にも褒めて貰えるようになりました。なので、自分で常に意識しておくだけで自分は変われるのだなと、自分の行動を通して気づくことが出来ました。
- ・毎日続けることが思ったよりも大変だった。コーヒー豆をひいてもらったが粗かったため1日目のコーヒーが薄くなった。それでも美味しかったし、ちゃんとひいて飲んだらより美味しかった。自分も楽しめた。
- ・1度やめていたのでこのチョコプロを通じてまた楽器に触れる機会ができて良かったと思う。楽しさを思い出したのでこのプロジェクトが終わってからも続けていこうと思った
- ・利き手を変えるだけで新鮮な気持ちになれて楽しかった。また、最近帰宅時間が早いので家族とご飯を食べることが多く、私を見て家族は逆に左手でお箸を持つことに挑戦するなど一家だんらんのよい要素になった

発想を自由に！

誰かのためにやっていることが、全て自分のためになる

MY WILL リスト50 () 組 () 番 名前 ()

自分がやってみたいと思うことをどんどん書きだそう！「〇〇を〇〇する」という簡単な文章で書こう！
 良い例：「楽器が弾ける人と演奏会をする」、「身長を〇センチ伸ばす」
 悪い例：「芸能人に会う」「旅をする」、具体性がないもの、同じことを書いている

| | | | | | | | |
|----|---------------|----|------------------|----|----------------|----|----------------|
| 1 | ハットマンが面白い | 13 | 70分450点！を超えろ！ | 26 | 京都を走りたい。 | 39 | 肩こりをなおす。 |
| 2 | 世界一周をやる | 14 | ボラックスをやる。 | 27 | 知能を上げるための向上 | 40 | 髪質をなおす。 |
| 3 | コンビニのUP | 15 | トリスを見る時間を減らす。 | 28 | リビッド感を身につける。 | 41 | お泊まり会をする。 |
| 4 | 部屋をパトロール | 16 | 刺身、ウナ、ポパイの魅力を学ぶ。 | 29 | 水泳をもう1度やる。 | 42 | 美術館めぐりをやる。 |
| 5 | MWAMのライブに行く | 17 | 茶室ジエートの観劇体験 | 30 | 心の中心を持つ。 | 43 | 日本一周温泉の旅 |
| 6 | 鈴木虎舟の道を見る。 | 18 | COGニッパをやる。 | 31 | 運動を楽しいと思えるように。 | 44 | ダンスシューズをやる。 |
| 7 | ドラム、リズムの練習を見る | 19 | 持ち物を向上させる。 | 32 | 何か楽器をマスターする。 | 45 | 好きなものを好きになる。 |
| 8 | 早起、早起。 | 20 | 自分の時間を作る。 | 33 | 歌の曲を上げる。 | 46 | 宇宙に行く。(無条件体験) |
| 9 | 本替え | 21 | リアルタイムを上げる。 | 34 | 筋トレを続ける。 | 47 | ギタースタイル挑戦！ |
| 10 | ゲーム | 22 | ヘアアレンジの練習。 | 35 | 断捨離をする。 | 48 | 感謝をマスター！ |
| 11 | 集中力をUP | 23 | 自然の音を取り入れる。 | 36 | ITを学ぶ。 | 49 | 虫ぐいを当てる。(目標1等) |
| 12 | 落穂2組に合格する！ | 24 | 180度の振り向きの前倒し | 37 | 起業する。 | 50 | コロナを収束させる |
| | | 25 | 92の曲を聴かせる。 | 38 | 何かを破壊してリストアップ | 51 | 学年1位の成績を取る！ |

52 知能の道を進むようにする。


(物心島)

53 1万回やること

高校2年生 チョココロ企画シート

(10) 組 (1) 番 名前 (. . .)

私は〇〇を (に) 〇〇する

私は  家のコンパを修理する。

① チョココロキーワード

#修理

#コンパ

#never give up!

① 何をするのか

家にあるCD・MDのコンパを修理する。

② 誰が喜ぶのか (自分・家族・地域・友達)

家族

③ なぜ、やるのか

家にたくさんあるMDを唯一再生できる物だがCDの再生の調子が悪...
ために捨てるのがもったいないから。

④ どんな力がつづくのか (想像力・観察力・実行力)

実行力

私は〇〇を (に) 〇〇する

私はコンポを 修理する。



企画概要・目的
コンポの
修理

どのような方法・アクションをするのか

解体 → 調査 → 断念

↳ パーツ購入

↓
修理

ネットで下調べしておく!!

1週間プラン

・ 2/3 (火) 解体

・ 1/3 (水) 〃

・ 1/4 (木) 調査

・ 1/ (金) 〃

・ 1/ (土) パーツ購入

・ 1/ (日) 〃

・ 1/ (月) 修理

あきうめ



高校2年生 チョココプロ企画シート

(10) 組 () 番 名前 ()

私は〇〇を(に)〇〇する

私は 何かする日やに2つの選択肢を出してどちらかとする



⑤ チョココプロキーワード

#

協力

#

人情

#

目的達成

① 何をするのか

例) 携帯をさわるか

嫌なことをする。

茶をFむか

② 誰が喜ぶのか (自分・家族・地域・友達)

私と

私の周りの人

③ なぜ、やるのか

嫌なことからの逃げる性格を

直すため。

④ どんな力がつくのか (想像力・観察力・実行力)

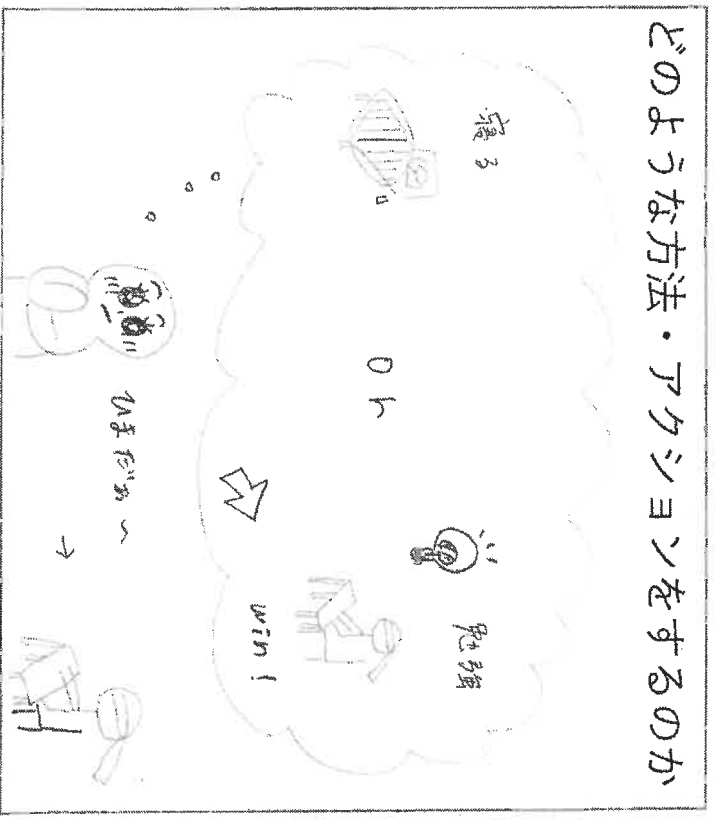
壁をのりこえる力

私は〇〇を(に)〇〇する

私は何かある時に2つの監視眼を出して嫌なところ



企画概要・目的
何かある時に
2つの提案を自由に
嫌なところを嫌う



- 1週間プラン
- 2/2 (火) 1日1回
 - 1/3 (水) 2回
 - 1/4 (木) 3回
 - 1/5 (金) 4回
 - 1/6 (土) 5回
 - 1/7 (日) 6回
 - 1/8 (月) 7回